

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸  
2023年度 第1回 教育連携委員会 次第

日時：2023年5月10日（水）10:00～11:30

場所：オンライン会議（ZOOM）

1. 開会
  - 1) 委員長・副委員長挨拶
  - 2) 委員紹介 (資料1)
  - 3) 大学コンソーシアムひょうご神戸について (資料2)
  
2. 協議事項
  - 1) 2023年度事業計画（詳細）・予算について (資料3)
  - 2) 「教育コンテンツ提案」ワーキンググループの継続について (資料4)
  - 3) その他
  
3. 報告事項
  - 1) 単位互換事業について (資料5)
  - 2) 公開講座等の開放について (資料6)
  - 3) 大学eラーニング協議会（UeLA）共通基盤教育システム試行運用について (資料7)
  - 4) その他
  
4. 意見交換
  
5. 連絡事項
  - 1) 定時総会 日時：6月7日（水）15:00～16:30
  - 2) 2023年 教育連携委員会の開催予定・主な議題について
    - 第1回（5月）：2023年度教育連携 事業計画（詳細）・予算について
    - 第2回（10月）：2023年度プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）について
    - 第3回（12月）：2023年度事業自己評価（案）について
    - 第4回（翌2月）：2024年度事業計画・予算（案）
    - 第5回（翌3月）：2023年度事業報告・決算（案）
  
- 6 閉会

以上

<配布資料>

資料1：2023年度教育連携委員会名簿

資料2-1：大学コンソーシアムひょうご神戸について

資料2-2：中長期計画Ⅱ期 基本方針・概要図

資料2-3：大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）取組課題について

資料2-4：大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）

資料2-5：事業委員会の運営に関する申し合わせ

資料2-6：キャリア委員会、FD・SD委員会の輪番制について

- 資料 3 : 教育連携委員会 事業計画 (詳細)・予算 (案)
- 資料 4 : 「教育コンテンツ提案」ワーキンググループの継続について
- 資料 5-1 : 単位互換事業について
- 資料 5-2 : 2023 年度単位互換事業・履修申込状況
- 資料 5-3 : 2023 年度科目一覧表
- 資料 5-4 : 2023 年度単位互換事業マニュアル フローチャート
- 資料 5-5 : 2023 単位互換事業マニュアル (教職員用)
- 資料 5-6 : 2023 単位互換事業マニュアル (学生用)
- 資料 5-7 : 2022 年度単位互換事業受講者事後アンケート
- 資料 5-8 : 2024 年度単位互換事業に係るポスター・チラシの制作について
- 資料 6 : コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム
- 資料 7 : 大学 e ラーニング協議会 (Uela) 共通基盤教育システムについて

以上

# 大学コンソーシアムひょうご神戸について

大学コンソーシアムひょうご神戸  
The Consortium Universities in Hyogo 可能性をつなぐ

## 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

### 設立

2006年6月12日（2016年4月1日 一般社団法人を設立）

### 正会員

39校（31大学、7短期大学・短期大学部、1高等専門学校）

### 特別会員

1団体（独立行政法人 日本学生支援機構）

### 賛助会員

35社

### 学生数

約11万人

### 趣旨

国際性を中核に、兵庫県の特徴をいかし、教育水準の向上と地域振興に貢献

### 事業

国際交流、学生交流、教育連携、キャリア  
高大連携、FD・SD事業を中心に、  
大学間連携、産官学連携を展開



理事長	甲南大学	学長	中井 伊都子
副理事長	神戸大学	学長	藤澤 正人
理事	関西国際大学	学長	濱名 篤
	神戸学院大学	学長	中村 恵
	神戸市外国語大学	学長	田中 悟
	神戸親和女子大学	学長	三井 知代
	神戸常盤大学	学長	濱田 道夫
監事	大手前短期大学	学長	福井 洋子
	神戸女学院大学	学長	中野 敬一
参与	兵庫県知事		齋藤 元彦
	神戸市長		久元 喜造
	独立行政法人日本学生支援機構	理事長	吉岡 知哉

## 大学コンソーシアムひょうご神戸 加盟校一覧 (39校)

法人名		正会員名		法人名		正会員名	
1	独立行政法人 国立高等専門学校機構	1	明石工業高等専門学校	19	学校法人 行吉学園	21	神戸女子大学
2	学校法人 芦屋学園	2	芦屋大学			22	神戸女子短期大学
3	学校法人 大手前学園	3	大手前大学	20	学校法人 親和学園	23	神戸親和女子大学
		4	大手前短期大学			24	神戸常盤大学
4	学校法人 濱名山手学院	5	関西国際大学	21	学校法人 玉田学園	25	神戸常盤大学短期大学部
5	学校法人 関西金光学園	6	関西福祉大学			26	神戸薬科大学
6	学校法人 関西学院	7	関西学院大学	22	学校法人 神戸薬科大学	27	頌栄短期大学
		8	聖和短期大学	23	学校法人 頌栄保育学院		
7	学校法人 甲南学園	9	甲南大学	24	学校法人 園田学園	28	園田学園女子大学
8	学校法人 甲南女子学園	10	甲南女子大学			29	園田学園女子大学短期大学部
9	国立大学法人 神戸大学	11	神戸大学	25	学校法人 平成医療学園	30	宝塚医療大学
10	学校法人 都築学園	12	神戸医療未来大学	26	学校法人 弘徳学園	31	姫路大学
11	学校法人 海星女子学院	13	神戸海星女子学院大学	27	学校法人 獨協学園	32	姫路獨協大学
12	学校法人 神戸学院	14	神戸学院大学	28	学校法人 睦学園	33	兵庫大学
						34	兵庫大学短期大学部
13	学校法人 谷岡学園	15	神戸芸術工科大学	29	学校法人 兵庫医科大学	35	兵庫医科大学
14	学校法人 八代学院	16	神戸国際大学			36	兵庫教育大学
15	公立大学法人 神戸市外国語大学	17	神戸市外国語大学	30	国立大学法人 兵庫教育大学	37	兵庫県立大学
16	公立大学法人 神戸市看護大学	18	神戸市看護大学				38
17	学校法人 松蔭女子学院	19	神戸松蔭女子学院大学	31	兵庫県公立大学法人	39	流通科学大学
18	学校法人 神戸女学院	20	神戸女学院大学				

# 大学コンソーシアムひょうご神戸 賛助会員一覧 (35社)

企業名	
① 株式会社 あみだ池大黒	18 日本テクノロジーソリューション株式会社
2 株式会社ECC	19 株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター
3 株式会社池田泉州銀行	②⑩ 株式会社ノーリツ
④ エム・シーシー食品株式会社	②① 白鶴酒造株式会社
5 株式会社学生情報センター	②② 株式会社パソナグループ
6 神戸商工会議所	23 バンドー化学株式会社
7 神戸トヨペット株式会社	24 兵庫県経営者協会
⑧ 株式会社サンエース	25 富士通Japan株式会社
9 株式会社JTB 神戸支店	26 株式会社ブレックス
⑩ 株式会社シマブンコーポレーション	27 丸善雄松堂株式会社
⑪ 医療法人社団星晶会	28 ミズノ株式会社
⑫ センコー株式会社	29 株式会社みなと銀行
13 株式会社TAT	③⑩ 株式会社立成社
14 東洋証券株式会社	31 株式会社レック
⑮ ナガセケムテックス株式会社	32 株式会社ロジックアンドサプライズ
16 日本ジッパーチュービング株式会社	33 株式会社ロック・フィールド
17 株式会社日本ツアーサービス	34 和田興産株式会社
○ 2022年度入会企業 12社	③⑤ 株式会社山上

© Presentation Design

外部環境

内部環境

設立の趣旨(目的) 「県下すべての大学による、すべての大学のためのコンソーシアム」

“国際性”を中核に、兵庫県及び神戸市の特性を活かしながら、高等教育機関が地域に不可欠な存在となることを目指して、教育・研究の充実と地域の行政や産業界との連携を図る。  
地域社会の教育・文化の向上・発展に貢献し、あわせて教育環境の向上に寄与する。

コンソの目指す姿 「Diversity, Equity & Inclusion」

～多様なメンバーが 学校を超えて フラットに学び合い 繋がる～

ビジョン

大学間連携・産官学連携で「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

戦略

①情報共有と発信 ②人的交流の促進 ③ステークホルダーとの有機的連携

柱1

地域活性化に資する  
人材育成

柱2

グローバル教育支援

柱3

多元的学びの提供

柱4

運営体制の構築

目指す姿・ビジョン・戦略を実現するための 組織経営

事業委員会運営

委員長校・副委員長校・委員校

ひょうご産官学連携協議会

自治体・経済団体

財政

加盟校・賛助会員・特別会員  
(収入 約2000万円)

事務局運営

14名(4種の雇用形態)・可能性をつなぐ♪

# 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

## 【基本方針】

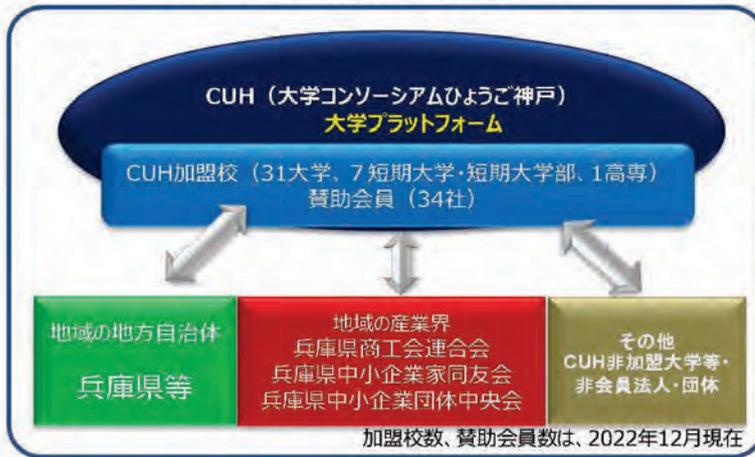
ひょうご産官学連携協議会の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。

さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多角的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多角的な教育活動に寄与する計画とする。

## 【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

### プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



### 【取り組みの概要】

- 1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**
  - ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上 (加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)
  - ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
  - ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
- 2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援**
  - ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
  - ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進
- 3. 県内大学の教育・研究の質を高める多角的学びの提供**
  - ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
  - ⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
  - ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
- 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築**
  - ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
  - ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考: 大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

## 大学コンソーシアムひょうご神戸 組織図



# 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

\* 事業委員会の運営に関する申し合わせから抜粋

## 3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。
- (2) **国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。**
- (3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

### 【選択制】

- ① 選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

### 【輪番制】

- ・ 輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

## 2023年～2025年の事業委員会 委員長校・副委員長校

中長期計画		I 期	II 期				III 期	
役員改選期		第3期	第4期		第5期		第6期	
事業委員会体制(案)		2年間	1年間	3年間(1年間+2年間)		2年間		
		2020・2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
国際交流委員会	委員長校	神戸大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学				
	副委員長校	神戸市外国語大学・神戸常盤大学	神戸市外国語大学	神戸市外国語大学				
学生交流委員会	委員長校	神戸親和女子大学	神戸常盤大学	神戸常盤大学				
	副委員長校	甲南大学	神戸親和女子大学	神戸学院大学★				
教育連携委員会	委員長校	兵庫県立大学	神戸大学	神戸大学				
	副委員長校	大手前大学・兵庫医療大学	大手前大学	大手前大学				
高大連携委員会	委員長校	関西国際大学		関西国際大学				
	副委員長校	神戸松蔭女子学院大学	甲南大学・神戸松蔭女子学院大学	神戸親和大学★				
キャリア委員会	委員長校	関西学院大学		関西学院大学		神戸学院大学★		
	副委員長校	関西福祉・甲南女子大学・神戸国際大学		関西福祉大学・甲南女子大学・神戸国際大学				
FDSD委員会	委員長校	神戸学院大学		甲南大学★		神戸親和大学★		
	副委員長校	兵庫大学・神戸薬科大学		神戸市看護大学★				

★変更大学

# キャリア委員会、FD・SD委員会の輪番制について

任期	キャリア委員会	FD・SD委員会
第6期（2026-27）	神戸学院大学	神戸親和大学
第7期（2028-29）	甲南大学	関西学院大学
第8期（2030-31）	関西国際大学	神戸学院大学
第9期（2032-33）	神戸常盤大学	神戸市外国語大学
第10期（2034-35）	神戸市外国語大学	神戸常盤大学
第11期（2036-37）	兵庫県立大学	神戸市看護大学
第12期（2038-39）	神戸市看護大学	神戸大学
第13期（2040-41）	神戸大学	関西国際大学
第14期（2042-43）	神戸親和大学	兵庫県立大学

備考：第15期以降は、状況の変化も想定されるため、第14期の理事校で決定する。

## 2022年度 実施事業について

## 課題⑦：大学間連携による 多様な教育ニーズへの対応

**委員校** : 24校  
**委員長校** : 神戸大学  
**副委員長校** : 大手前大学

1. 単位互換事業
2. 多様な学修機会の提供事業

### 【教育連携委員会】24校

委員長校：神戸大学      副委員長校：大手前大学  
 大手前短期大学      神戸松蔭女子学院大学  
 関西国際大学      神戸親和女子大学  
 関西福祉大学      神戸常盤大学  
 関西学院大学      神戸常盤大学短期大学部  
 聖和短期大学      園田学園女子大学  
 甲南大学      園田学園女子大学短期大学部  
 神戸医療未来大学      姫路獨協大学  
 神戸海星女子学院大学      兵庫大学  
 神戸学院大学      兵庫大学短期大学部  
 神戸芸術工科大学      兵庫医科大学  
 神戸市看護大学      兵庫県立大学

### 単位互換

加盟校学生に幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や各校の特徴を活かした授業及び集中講義を中心に単位互換を実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下、授業形態の多様化により、履修者を増やす結果となった

- ・15校85科目開放
- ・履修者8校42名（対面31・オンデマンド10・オンデマンドとオンライン併用1）10/30時点

※2021年度 11校43科目開放、履修者8校29名

### 「単位互換包括協定書」締結大学の拡大

協定書締結大学：35校  
 （29大学、6短期大学・部）

- ・2023年度科目開放に向けて、新たに1校が協定書締結

<2022年度>  
 34校（29大学、5短期大学・部）

### 広報ツールの作成

学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学学生が企画・デザインしたポスターとチラシを制作

各校において学内に掲示・配布し、広く学生に周知を行った



### 公開講座

17の公開講座を公開。235名(報告分)が参加



### ICTを活用したコンテンツの検討

- ・大学eラーニング協議会共通基盤教育システムの試行継続
- ・教育コンテンツ提案ワーキンググループ（WG）

コロナ禍の影響で殆どの大学がオンライン授業を実施した中で、各大学の実情と課題について意見交換。外部講師を招いてオンライン教材の作成に関する講習会を実施し、新たな授業方法の工夫に向けて活動した



### 今年度の新規性

- ・包括協定書の見直し（遠隔授業科目を単位互換科目として位置づけることの明確化）により、昨年度よりも履修者が増加  
 →これまで距離的・時間的制約により履修者数が伸びなかったが、教育のICT化により単位互換事業も新たな段階に突入
- ・教育コンテンツ提案ワーキンググループを発足  
 →従来の対面授業形式が戻つつある中、オンライン授業等、コロナ禍での新たな「選択肢」の大学教育への導入を総括。教育コンテンツの可能性と課題を今後活かす議論を深めた

### 自己評価

- ・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- ・理由
  - 単位互換  
 履修者の送り出し校：目標5校 **実績8校**  
 開放科目数：目標10科目 **実績85科目**
  - 公開講座  
 参加者数：目標50名 **実績235名**  
 講座数：目標5件以上 **実績17件**
  - 教育コンテンツ提案ワーキンググループ  
**2回実施：1回目7校11名 2回目8校18名**

### 活動の満足度

- （単位互換事業について）
- ・大学のガイダンス・単位互換事業のポスターをきっかけに参加した。所属大学にない内容の授業がよかった
- ・学びたいことを学ぶことができ、とても貴重な経験になった。いつもの学生生活では出会えない人とも交流が持てた

# 【参考】他事業委員会・企画運営委員会の取組

- 国際交流委員会 28校
- 学生交流委員会 25校
- キャリア委員会 24校
- 高大連携委員会 19校
- FD・SD委員会 25校
- 企画運営委員会 11校

## 大学間連携・産官学連携で 「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

### 【国際交流委員会】28校

委員長校：兵庫県立大学	副委員長校：神戸市外国語大学
明石工業高等専門学校	神戸学院大学
芦屋大学	神戸国際大学
大手前大学	神戸市看護大学
大手前短期大学	神戸松蔭女子学院大学
関西国際大学	神戸女学院大学
関西福祉大学	神戸親和女子大学
関西学院大学	神戸常盤大学
聖和短期大学	神戸常盤大学短期大学部
芸術文化観光専門職大学	園田学園女子大学
甲南大学	園田学園女子大学短期大学部
甲南女子大学	姫路獨協大学
神戸海星女子学院大学	兵庫大学
神戸大学	兵庫大学短期大学部

### 英語でのキャリアイベント

「英語による」キャリアイベントを開催、優秀なグローバル人材の日本での就職率の向上に貢献することを目的に実施



### 「防災セミナー」外国人のための避難所体験

神戸国際コミュニティセンター及び神戸大学グローバル教育センターと協業して実施



### 英語村

大学生が企画し、中高校生等を対象に英語を通じたコミュニケーションの楽しさや学びを提供



### 学生海外派遣プログラム

- 1 医療・検査コース（アメリカ ポストン）
- 2 看護コース（ネパール カトマンズ）



新型コロナウイルス感染症の影響にて、中止  
これまでの参加生徒の満足度も高い為、時期を見て再開を検討する

### 模擬国連演習

#### 【NMUN (National Model United Nations)】

世界各地で行われている模擬国連活動の中で、最も権威のある本大会を、神戸市外国語大学がホスト校となり実施した



### 今年度の新規性

- ・多文化共生の拠点として、外国人留学生と日本人学生が学生スタッフとして、企画・運営等を協働して行う組織を充実させた  
(在籍学生スタッフ・16か国42名)
- ・県内の国際交流機関との連携を強化し、より多くの地域の方や海外の方と加盟校学生と一緒に学び、交流する機会を提供した
- ・日本での就職を希望する留学生に対して、就職に係る正確な情報提供と日本企業との交流の機会を提供し、留学生の日本での就職の意識を高めた

### 自己評価

・自己評価 **4/4 当初計画を上回って達成**

・理由  
当初目標の各年参加者500名以上という目標を大きく上回る**約1,688名参加**という結果となった

- ・ファシリテーション **全2回 145名**
- ・Let's talk with us **全2回 72名**
- ・Get Ready for a Successful Job-Hunting in Japan **全2回270名**
- ・キャリアカフェ **全10回 934名**
- ・防災セミナー **40名**
- ・英語村 **全4回 169名**

### 大学間連携による協業事業

甲南女子大学・兵庫県立大学と協業。留学生との交流を通し、国際理解、コミュニケーション能力向上を目的に実施



**【学生交流委員会】25校**

委員長校：神戸常盤大学 副委員長校：神戸親和女子大学  
 芦屋大学 神戸女子大学  
 関西国際大学 神戸女子短期大学  
 関西学院大学 神戸常盤大学短期大学部  
 聖和短期大学 領栄短期大学  
 甲南大学 園田学園女子大学  
 甲南女子大学 園田学園女子大学短期大学部  
 神戸大学 姫路大学  
 神戸海星女子学院大学 姫路獨協大学  
 神戸学院大学 兵庫大学  
 神戸松蔭女子学院大学 兵庫大学短期大学部  
 神戸学院大学 兵庫県立大学  
 神戸市看護大学

**【学生交流委員会】みなとまつり**

兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成し、主催される「みなとまつり」に楽天ヴィッセル神戸と協力しブース出展



**Autumn Festival in KOBE**

地元企業であるマルヤマナギ小倉屋と商品企画から販売促進・広報を協力し、加東市の特産品である「もち麦」を使用したドリンクのブース出展



**ナガセケムテックスプレゼンツ  
ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト**

地域の活性化に資する人材育成プログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに、プロスポーツチーム・ヴィクトリーナ姫路が抱える事業課題の解決に向けたビジネスコンテストを実施



**地域の活性化に関する加盟校学生の取組事例の紹介**

大学コンソーシアムひょうご神戸HP「NOTE」に、「地域で輝く学生」と題して連載記事を掲載



**多種多様な媒体での広報活動**

学生自身がSNS、ラジオ出演にて広報活動。神戸新聞等の取材で学生の取組が紙面で紹介された



**地域子育て支援拠点  
こどもの居場所でのボランティア等活動**

加盟校が連携して、コンソ加盟校の学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供



- ・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- ・理由  
WILL BEプロジェクトは当初の目的は10校50名の参加目標が、**17校151名の参加**
- ・みなとまつり **11校52名**
- ・Autumn Festival in KOBE **8校22名**
- ・地域子育て拠点等でのボランティア活動 **4校 7名**
- ・ヴィクトリーナ姫路 **10校70名**

**活動の満足度**

- ・自分たちでブースを企画・運営することは初めてだったが、とてもやりがいを感じた。お客様に喜んでもらえるのが何より嬉しかった
- ・みんなでひとつの目標・ゴールに向かって成し遂げようとする力が身についた。意見を出し合い、精査した上で何が最善なのか見極める力も身についた
- ・企画立案から実践までの間、失敗したことも多かったが、失敗から学んだことは多く、成功するための糧にすることができた

**【キャリア委員会】24校**

委員長校：関西学院大学 副委員長校：関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学  
 芦屋大学 神戸親和女子大学  
 大手前大学 神戸常盤大学  
 大手前短期大学 神戸常盤大学短期大学部  
 関西国際大学 園田学園女子大学  
 聖和短期大学 園田学園女子大学短期大学部  
 甲南大学 姫路獨協大学  
 神戸大学 兵庫大学  
 神戸海星女子学院大学 兵庫大学短期大学部  
 神戸学院大学 兵庫県立大学  
 神戸松蔭女子学院大学 流通科学大学

**若手社員による学生啓発プログラム**

「ライフキャリアを考える」、「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」を実施



**県内企業の情報発信の強化**

「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開中。今年度15社追加 **計152社掲載**



**経営者による職業観形成プログラム**

ZOOMオンラインにて「マイクロインターシップ」「グループディスカッションで学ぶ企業人事の採用視点」、対面にて「県内企業経営者・人事担当者との座談会」「社会人スタートダッシュ」を開催



**ひょうご留学生インターンシップ**

今年度で14年継続のプログラム



**外国人向け合同説明会や就職活動準備講座の実施**



**企業とキャリアセンターとの意見交換会**

合同企業説明会、企業×キャリア情報交換会（計7回）を開催



**今年度の新規性**

- ・昨年実施した「産官学連携によるリーダシップ育成講座」を発展させた「マイクロインターンシップ」を実施
- ・低学年留学生向けの就活準備講座の実施



**自己評価**

- ・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- ・理由  
今年度の目標参加者数500名を上回る**652名参加**  
 ・大学キャリアセンターとの意見交換会 **全5回 298名参加**  
 ・経営者/若手社員による学生啓発プログラム **全4回 277名参加**
- <留学生向け支援>  
 目標参加者数 500名を上回る**1,734名の参加**  
 ・ひょうごインターンシップ  
 修了生 **8大学43名 受入企業・団体22社**  
 ・外国人向け合同企業説明会 **848名参加**

【高大連携委員会】19校

委員長校：関西国際大学
副委員長校：甲南大学、神戸松蔭女子学院大学

- 関西学院大学 頌栄短期大学
聖和短期大学 園田学園女子大学
神戸大学 園田学園女子大学短期学部
神戸海星女子学院大学 姫路獨協大学
神戸学院大学 兵庫大学
神戸親和女子大学 兵庫大学短期大学部
神戸常盤大学 兵庫医科大学
神戸常盤大学短期学部 兵庫県立大学

ひょうご高校大学コンソーシアム

兵庫県下の高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催。本年度テーマは「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのか」

参加者数 64名



合同進学説明会

大学への進路選択にむけて、高校生と保護者、高校教員等を対象とする共同の説明会（オンライン）を開催。奨学金に關する情報提供も実施

参加校21校



県内大学等の情報提供の実施

①まなびMap

加盟校の各大学の学部を一覧で掲載。各大学にどのような学部があるかを情報提供



県内大学等の情報提供の実施

②オープンキャンパス情報掲載

HPにて加盟校のオープンキャンパスや学園祭情報を掲載



アンケート等の実施

・「探究学習」の実施状況並びに「進学説明会」についてのアンケートを実施

・合同進学説明会のチラシ配布・案内：県立・私立・市立高校等200校以上

→高校並びに教職員・学生に対して、加盟校の魅力伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する活動の継続

今年度の新規性

今年度から高等学校学習指導要領において新しく導入される「探究学習」について、継続性のある意見交換会を試みた

→経年で同一テーマでの意見交換を継続することで、一過性の意見交換にとどまることのない、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を期待できる

自己評価

・自己評価 3/4 当初の計画を達成できた

ひょうご高校大学コンソーシアム
参加者数：計64名（加盟校:20校42名、高校:14校17名、企業・団体:2社5名）

・理由
意見交換会を年1回以上開催 → 達成
目標参加校数20校以上を上回る 34校参加

活動の満足度

・高大連携センターの役割や今後ますます発展するような連携の在り方が見えた。また、出張授業などがスキル別でリスト化されていることが素晴らしいと感じた

・本校も探究のデータベース等を作成したいと考えている。今後も積極的に作成に向けて取り組んでいきたい

・高校、大学双方の課題等を提示したうえで前向きに解決に向けた意見交換ができた

【FD・SD委員会】25校

委員長校：神戸学院大学
副委員長校：神戸薬科大学、兵庫大学

- 芦屋大学 神戸親和女子大学
関西国際大学 神戸常盤大学
関西学院大学 神戸常盤大学短期学部
聖和短期大学 頌栄短期大学
甲南大学 園田学園女子大学
神戸大学 園田学園女子大学短期学部
神戸海星女子学院大学 姫路獨協大学
神戸市看護大学 兵庫大学短期大学部
神戸松蔭女子学院大学 兵庫医科大学
神戸女子大学 兵庫教育大学
神戸女子短期大学 兵庫県立大学

加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開

6大学合計13件の公開セミナー開催

合計 1015名が受講

<開催校>

- 大手前大学 1件
関西学院大学 1件
神戸学院大学 7件
神戸常盤大学 1件
神戸薬科大学 1件
兵庫大学 2件

「大学運営」に関する科目の受講支援

・関西学院大学経営戦略研究科ビジネススクールにて2016年から大学職員向けのSDとして開設科目「大学運営」に関する科目の受講支援を行った
加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供できた

受講者 4校8名

トップセミナー

「GIGAスクール構想がもたらす大学教育への影響 - 次代の学生像を考える -」をテーマに開催



「これからの高等教育のあり方」「初等中等教育における情報教育・ICT活用教育の現状と未来」について講演・意見交換を行った

参加者 113名

内部品質保証セミナー

「今こそ、基本的な考え方に立ち返り、実質化を考えたい!」と題して開催。「内部品質保証に関する基本的な考え方」「内部品質保証に関する要件と課題・GPについて」「認証評価基準や認証評価結果」に関する講演と意見交換会を開催

参加者 35名



内部品質保証セミナー～教学データ活用実習～

「内部品質保証」や「IR」に関するセミナーを継続的に開催。「教学データの扱い方」をテーマに実務に役立つ「Excel」だけでできるデータ活用実習を開催

参加者17名



今年度の新規性

・加盟校からのセミナー情報の提供方法としてWebフォームを導入。登録手続きの利便性と簡便化を図ることで、セミナー公開の活性化を目指した

・トップセミナーはテーマを高等教育だけでなく、初等中等教育も含めた視点を加えることで、教育の中長期的な計画について議論を行った

→授業方法や学習形態等の教育変化に直面するなか、教育課題を明確化し、教育改革のための新しい視点を持つ機会が提供できた

自己評価

・自己評価 4/4 当初の計画を上回って達成できた

・理由
FDSDセミナー目標参加者数 100名を上回る 1015名が参加

FDSDセミナー件数 目標5件を上回る13件の開催

情報交換会、セミナーの年3回開催 → 達成
情報交換会、セミナー目標参加者50名を上回る 165名が参加

活動の満足度

・高等教育の課題を高等教育と初等中等教育の両面から俯瞰でき、わかりやすく、より理解が深まった研修会であった

・具体的な事例を伺い、本学でのデータ活用の糸口になった

・講師と参加者との情報交換が有益だった。今後様々なテーマについて情報交換ができる場の設定をお願いしたい。とても勉強になった。また人脈づくりにもなり大変貴重な場となった

**【企画運営委員会】リカレント教育の普及促進**

リカレントフォーラムの開催やHP上で各校のリカレント講座情報を掲載  
参加者数 143名



**大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築①**

ひょうご産官学連携協議会にて定期的に意見交換  
また、地域住民の方の参加を対象に報告会も開催



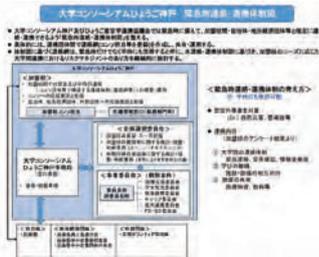
**大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築②**

賛助会員と加盟校の懇親会を、神戸ポートピアホテルにて開催。あたりに賛助会員に入会くださった11社を含む、97名の方々にご参加頂きました



**緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築①**

緊急時連絡・連携体制図の作成



**緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築②**

「リスクに関する情報交換会」にて、具体的な運用について議論

加盟校が蓄積する経験や知見の共有を行う

参加者数51名



**加盟校が活性化事業運営体制の整備・推進**

企画運営委員会にてコンソの運営体制についておおよそ1回開催し議論を実施

<議題 例>

- ・中長期計画Ⅱ期について
- ・事業委員会体制について
- ・事業委員会 予算・決算について
- ・リスクマネジメント体制について
- ・リカレント教育について
- ・私立大学等改革総合支援事業 申請について など

**加盟校専用ページの開設**

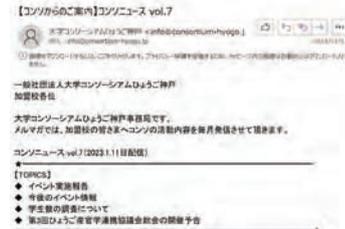
学長就任情報の入力、各委員会の会議資料・議事録、HPの掲載依頼、メルマガ等掲載



※各事業委員会のパスワードは「Consome」です

**メルマガの配信**

月1回のペースで「コンソニュース」と題して、コンソの活動内容を配信



**NOTEへの活動報告の掲載**

NOTEにて加盟校学生の活動やコンソイベントの報告などを掲載



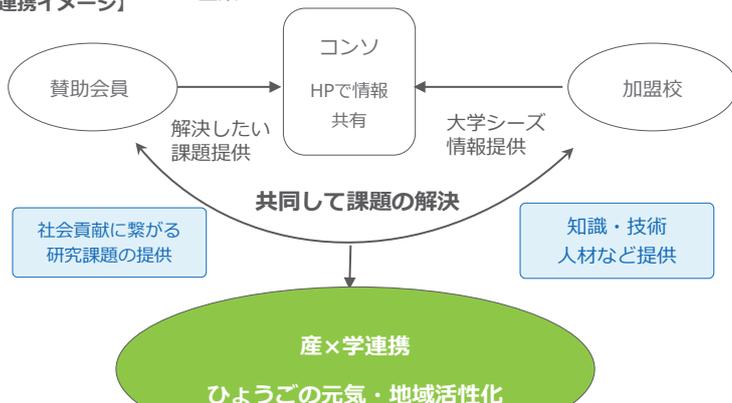
**課題解決プログラムのご案内**

企業・団体の課題解決を通じて、研究・教育への取組を検討されている大学教職員と企業を繋ぐ。  
兵庫の元気・地域活性化に向けて、双方の「学び」を繋ぐ。

**【背景】**



**【連携イメージ】**



**【賛助会員側のメリット】**

- ・自社の課題解決
- ・幅広い専門分野の知識や経験を備えた人材（研究者等）との交流
- ・学術的な視点を取り入れた事業展開を可能に
- ・連携後も大学側とのネットワークが広がる

**【加盟校側のメリット】**

- ・自学の研究シーズを活用して頂くことで地域社会に貢献
- ・市場につながる企業とのネットワークの構築
- ・兵庫県下の多くの魅力的な企業と学生との交流
- ・企業から出された「具体的な課題」に対して、大学生がゼミの専門性（研究テーマ）を生かして実践的な研究活動を実施

**【連携想定例】**

- ①自社ブランドの知名度向上を目指して、大学のマーケティング専攻の教授、及びゼミ生と共同して取組む。
- ②観光会社が新たなツアー先の追加について、現代社会のメカニズムを研究している教授、及びゼミ生と共同して取組む。

## 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

### 【基本方針】

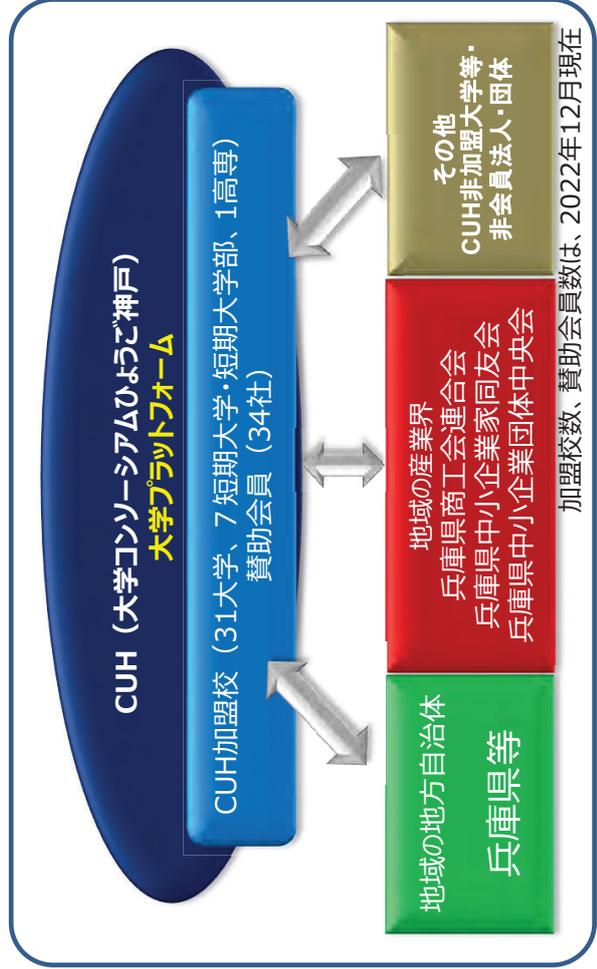
ひょうご産官学連携協議会の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。

さらに、今後想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

### 【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する”ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

### プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



### 【取り組みの概要】

- 1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**
  - ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上 (加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)
  - ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
  - ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
- 2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援**
  - ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
  - ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進
- 3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供**
  - ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
  - ⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
  - ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
- 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築**
  - ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
  - ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）について

<p>大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する”ひょうご神戸”</p>	
ビジョン・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに「若者が育ち、活躍する県」であるメッセージを発する</li> <li>■ 人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信</li> <li>■ 大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす</li> <li>■ 産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築</li> </ul>
重点項目	<p>①情報の共有と発信 ②人的交流の促進 ③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携</p>

■以下、「4つの柱」に基づいて、「10課題・18取組」を7委員会(国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、キャリア、FD・SD、企画運営)において実施

柱	課題	取組	担当委員会
柱 1 地域の活性化に資する人材育成のための連携	課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上	キャリア
	課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	
柱 2 “ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援	課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	学生交流
	課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進	キャリア
	課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進	国際交流
柱 3 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進	FD・SD
	課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	教育連携
柱 4 県内大学が活性化する大学連携組織としての運営体制の構築	課題⑧	県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	企画運営
	課題⑨	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	企画運営
課題⑩	県内大学が活性化する事業運営体制の整備	1) 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	企画運営

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期  
(2022年度～2026年度)

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多面的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多面的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]

大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。

大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。

大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の4つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2022年12月現在

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の3つを重点項目として取り組む。

## **1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**

### **①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上**

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上

（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業生の『県内企業への就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足が考えられる。県内大学卒業生の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。

（担当）キャリア部門

【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信

（目標）情報公開企業・団体数120社以上

（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。

（担当）キャリア部門

### **②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続**

【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施

（目標）各年参加校数20校以上

（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。

（担当）高大連携部門

【取組2】加盟校の魅力を情報発信

(目標) 各年情報提供先数 高等学校等 200 か所以上

(内容) 加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

(担当) 高大連携部門

### **③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進**

#### **【取組1】 テーマ型の学生交流プロジェクトの実施**

(目標) 各年参加者数 50 名以上

(内容) 他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

(担当) 学生交流部門

#### **【取組2】 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施**

(目標) 情報公開数 200 取組以上

(内容) 加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。

(担当) 学生交流部門

## **2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援**

### **④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進**

#### **【取組1】 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施**

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の 70%以上。

(内容) “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。

(担当) キャリア部門

### **⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進**

#### **【取組1】 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施**

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合  
：参加学生の80%以上(期間中2回測定)

(内容) 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(日本学生支援機構委託事業)において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

(担当) 国際交流部門

#### 【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合  
：参加学生の80%以上(期間中2回測定)

(内容) 大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

(担当) 国際交流部門

### **3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供**

#### **⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進**

##### 【取組1】加盟校間でのFD・SDセミナーの公開

(目標) 各年セミナー数5件以上

(内容) 加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD部門

##### 【取組2】FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

(目標) 各年参加者数50名以上

(内容) 加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD部門

#### **⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応**

##### 【取組1】単位互換事業の実施

(目標) 各年開放科目数10科目以上

(内容) 加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

(担当) 教育連携・教務部門

【取組2】多様な学修機会の提供

(目標) 各年プログラム数5件以上

(内容) 加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する(ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等)。

(担当) 教育連携・教務部門

### ⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組

(目標) 各年参加者数50名以上

(内容) 加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。

(担当) リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信

(目標) 各年10校以上

(内容) 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。

(担当) リカレント教育部門・企画運営委員会

## 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

### ⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築

(目標) 大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充

(内容) 兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。

(担当) 企画運営委員会

【取組2】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築

(目標) 緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築

(内容) 感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有する。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。

(担当) 企画運営委員会

#### **⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備**

【取組1】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

(目標) 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

(内容) 加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

(担当) 企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以 上

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第38条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則2名(教員1名、職員1名)。
- (2) 毎年度、第1回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選抜制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選抜制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選抜制】

- ① 選抜制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選抜することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選抜制4事業委員会の正副委員長及び輪番制2事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。
- ② 選抜制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③ 1大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

## 【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023年度からの担当期間を原則として3年間（2023年度～2025年度）とする。
- ③2026年度～2027年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて2025年度後期に検討するものとする。

## 4. 事業委員会の任務

- (1) 事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

## 5. 事業委員会の招集・議事

- (1) 事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2) 事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

## 6. 成立要件(定足数)

- (1) 事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2) 委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3) 「委任状」の制度は用いない。
- (4) 事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

## 7. 議決権及び議決数

- (1) 正会員あたり各1個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

## 8. プログラム担当校

- (1) 事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2) プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3) 委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

## 9. 事業委員会事務局

- (1) 事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

## 10. 改廃

- この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019年4月1日から施行する。

附則

- (1)この申し合わせは、2022年4月1日から施行する。
- (2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め1年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月1日から施行する。

以上

## 【2023年度 教育連携委員会 事業計画】

委員長校：神戸大学

副委員長校：大手前大学

委員校：大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計23校

#### <目的>

加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。

「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。

さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

#### <内容>

##### 1. 単位互換事業の実施

加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に「多様なメディアを高度に利用した」科目等も取り入れる。

##### 2. 多様な学修機会の提供

加盟校に通う学生等に多様な学修機会を提供するため、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する。

#### <期待される効果>

##### 1. 単位互換事業の実施

- (1) 「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。
- (2) コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。

##### 2. 多様な学修機会の提供

- (1) 加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。
- (2) 異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

課題⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		予算額
取組1	単位互換事業	520,000円
取組2	多様な学修機会の提供事業	80,000円

【2023年度 教育連携委員会 事業計画(課題⑦取組1)】(案)

【⑦取組1】達成目標	各年開放科目数10科目以上			
【⑦取組1】活動指標	送り出し校数・5校/年			
課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
達成目標【⑦取組1】	各年開放科目数10科目以上			
課題を解決する取組概要【⑦取組1】	単位互換事業の実施			
活動指標【⑦取組1】	送り出し校数・5校/年			
内容 (計画)	<p>加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に距離的・時間的制約により履修が困難とされてきた授業について、可能な範囲で教育のICT化の工夫を取り入れる。</p> <p>1. 2023年度単位互換事業 兵庫県の地域特性や各大学の特徴を活かした特色的な科目やフィールドワーク等の実践的な科目など80科目以上を開放科目として実施する。</p> <p>2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、継続的に協定締結に向けた依頼を行う。</p> <p>3. 単位互換事業の広報活動について HP、ポスター等を活用して単位互換事業の広報活動を継続的に行う。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	520,000円			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))			
■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき			
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)			

【2023年度 教育連携委員会 事業計画(課題⑦取組2)】(案)

【⑦取組2】達成目標	各年プログラム数5件以上			
【⑦取組2】活動指標	参加者数50人以上/年			
課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
達成目標【⑦取組2】	各年プログラム数5件以上			
課題を解決する取組概要【⑦取組2】	多様な学修機会の提供			
活動指標【⑦取組2】	参加者数50人以上/年			
内容 (計画)	<p>加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するするとともに、「大学e-learning協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ICTを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への解放 2023年度においても加盟校の公開講座やセミナー等の多様な学修機会を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放することとする。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学e-learning協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、昨年度に引き続き「教育コンテンツ提案」WGを開催する。WGでは、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	80,000円			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))			
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)			

2023年度 教育連携委員会 事業予算

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算
		取組1		取組2		
		内訳	予算額	内訳	予算額	
金費収入	700,000		520,000		80,000	100,000
助成事業収入	0					
受託事業収入	0					
プログラム収入	0					
雑収入	0					
戻入金	0					
計	700,000		520,000		80,000	100,000
会議費	10,000					検討委員会開催費 10,000
旅費交通費	10,000					旅費交通費 10,000
通信運搬費	33,000					郵送代 33,000
消耗品費	0					
新聞図書費	0					
印刷製本費	140,000		140,000			
光熱水料費	0					
賃借料	0					
保険料	0					
謝金	130,000		80,000		講師等謝金 50,000	
租税公課	0					
支払手数料	4,000					振込手数料 4,000
諸会費	30,000					
委託費	333,000		300,000		Eラーニング協議会費 30,000	各プログラムHPに係る予備費 33,000
人件費	0					
接待交際費	0					
支払支援金	0					
雑費	10,000					委員長・副委員長 校運締調整等 10,000
計	700,000		520,000		80,000	100,000

収入-支出	0
-------	---

## 2023年度「教育コンテンツ提案」ワーキンググループについて(案)

### (本年度の活動目的)

本ワーキンググループ(以下、WG)は、ポストコロナ社会における新たな大学教育や単位互換事業の姿を見据え、コロナ禍に導入されたオンライン授業(非対面授業)の実施にあたり各大学で見られた課題を抽出し、その課題を踏まえた教育コンテンツ制作支援のあり方とオンライン授業の活用方法について検討することを目的としています。

この目的に基づき、昨年度は2度のWGを開催いたしました。第1回WGでは、メンバー校に事前に送付したアンケートの結果に基づき、コロナ禍におけるオンライン授業導入状況についてグループ長が報告するとともに、各大学の現状について情報共有いたしました。第2回WGでは、第1回WGで指摘された課題——特にオンライン教材を提供できる体制・設備を大学側が整える必要性を踏まえ、株式会社デジタル・エデュケーショナル・サポート(DES)による大手前大学での制作支援について、DES制作運用室の前地純一氏に情報提供をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を踏まえ、各大学では対面授業への回帰がより一層進んでいますが、昨年度のWGで報告したアンケート結果からはオンライン授業も定着しつつある状況が見られます。一方で、ChatGPTやBingAIのような生成系AIの登場により、新しい課題(と可能性)が教育現場で持ち上がりつつもあります。

昨年度は、コロナ禍において緊急避難的に導入されたオンライン授業という新たな「選択肢」の活用状況や課題を総括し、その可能性と課題を今後活かすための議論を深めることを企図していましたが、リモート技術に加えさらなる新技術が大学教育に影響を及ぼす中で、いかなる「教育コンテンツ」の形を模索できるか。本WGでは今年度も現状を参加校と議論を深めていければと考えています。

### (運営体制)

グループ長：大手前大学 教授 谷村 要(教育連携委員会副委員長)

グループメンバー：大学コンソーシアムひょうご神戸会員校より任意で参加

WG事務取扱：大手前大学 地域・社会連携室

### (開催スケジュール)※昨年度実績に基づく

第1回WG開催予定日：7月中旬～7月末

第2回WG開催予定日：12月

以上

2023年5月10日

大手前大学

## 大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業について

### 1 開放科目と履修登録の現状について

2023年度募集では、2022年度に引き続き、集中科目（国内合宿型、集中型実技、実習等特別プログラムなど）に加え、地域性や特色ある科目で実施。

#### 開放科目数と履修者数の推移

年度	開放科目数		履修者数		備考
2010	5校	19科目	2校	2名	試行
2011	12校	85科目	5校	17名	本格実施
2012	19校	96科目	4校	22名	夏期集中講義プログラムの提供開始
2013	19校	115科目	8校	23名	単位互換協定の締結大学と開放科目の拡大
2014	19校	118科目	8校	31名	加盟校の約2/3が単位互換「科目開放覚書」締結 加盟校からの特徴ある科目（集中講座等）提供開始
2015	6校	14科目	6校	18名	通期科目の単位互換を取り止め、集中講義に特化
2016	5校	13科目	7校	14名	学生への周知拡大のため、学生が広報ポスターをデザイン （神戸芸術工科大学に依頼）
2017	13校	32科目	4校	11名	集中講義に限定せず、特色のある科目に広げて科目開放
2018	11校	31科目	4校	13名	e-learning 活用検討部会を設けて勉強会
2019	14校	45科目	6校	16名	大学eラーニング協議会（UeLa）との連携（共通基盤教育の案内）
2020	15校	41科目	3校	8名	新型コロナウイルス拡大防止のため、前期科目開放は中止。 後期1科目実施。協定書の見直し
2021	11校	43科目	8校	29名	コロナ禍での単位互換、29人中20人が非対面。 （オンライン17人、オンデマンド3人）
2022	15校	85科目	8校	42名	（対面31人、オンデマンド11人）
2023	17校	82科目	6校	7名	2023年4月現在

### 2 2023年度単位互換事業について

資料5-1：単位互換事業について

資料5-2：2023年度単位互換事業・履修申込状況

資料5-3：2023年度科目一覧表

資料5-4：2023年度単位互換事業マニュアル フローチャート

資料5-5：2023年度単位互換事業マニュアル（教職員用）

資料5-6：2023年度単位互換事業マニュアル（学生用）

資料5-7：2022年度単位互換事業受講者事後アンケート

### 3 2022年度から主な運用変更点について

- (1) コンソ HP 更新（アンケートおよび質問フォーム設置、個別チラシのメール・コンソ HP 掲示案内）
- (2) 履修申込書・履修学生一覧表のやりとりにおいて、学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は電子データのみも可とした。原本郵送を必須とする学生所属校1校、科目開放校1校もあった。
- (3) チラシの必要枚数を Web アンケートや電話で活用方法を聞き取りのうえ郵送をした。「チラシケースに配架」や「オリエンテーション時に個別配付」「オンライン上の掲示対応」などの回答があった。2022年度は約20,000枚印刷に対し、2023年度は約6,500枚に部数の見直しを行った。

#### 4 今後の予定

- (1)2次募集の募集案内(6月)、3次募集の募集案内(8月)
- (2)単位互換包括協定締結大学、科目開放の覚書締結大学の拡大  
2023年度は昨年度より1校増加(聖和短期大学)し、35校が協定締結。  
未締結大学等へ依頼文書を送付する
- (3)ポスター作成(【資料7】2024年度大学コンソーシアムひょうご神戸単位互換事業に係るポスター・チラシの制作について(依頼)参照)
- (4)単位互換手続き、マニュアルの運用について

##### (検討事項)

- ①募集期間が短い大学に対し、募集締め切り後の応募があったため周知方法を検討する。
- ②履修申込の証明写真・学生証添付漏れが発生しているためマニュアルの構成を検討する。
- ③卒業年次学生の単位認定が科目開放校の成績通知時期に間に合わない場合のマニュアル追記。  
2023年度後期、2024年度の実施に向けて、効率的な運用ができるよう必要な見直しをする。

#### 5 2022年度を受講者アンケート抜粋(回答者計10名、カッコ内の数字は回答者数)

Q 受講のきっかけとなった媒体等は何でしょうか。(複数回答可)

大学のガイダンス(6)、単位互換事業のポスター(5)、コンソHP(1)、大学からの募集メール(1)

Q 受講した理由は何でしょうか。(複数回答可)

所属大学にない内容の授業(9)、所属大学にはあるが受講できない(1)、所属大学で受けた学びを深めるため(1)

- ・芸術分野に興味があり、所属大学では学べないことを学べると考えたから。
- ・農業には興味はあったが、大学4年間を通してやりたいものとなると他にもあったので、今回は出来なかったことをやれる良い機会だと思い受講した。
- ・大学で地域社会学を専攻していたが、より地域の学びを深めたいと考えたため。

Q 単位互換事業について、利用してよかったですか。

とてもよかった(7)、よかった(2)、どちらともいえない(1)

- ・学びたいことを学ぶことができ、とても貴重な経験になった。いつもの学生生活では出会えない人とも交流が持てた。
- ・普通に生活しているだけでは体験できないことが多くあったため、知識だけでなく経験もしっかり増えたと感じた。
- ・大学の枠を越えた友人を作ることができた。他大学のレベルの高い人のグループワークなどが非常に参考になった。

Q 授業は理解できましたか。

十分理解できた(6)、理解できた(2)、どちらともいえない(2)

- ・レジュメに書かれている技法などが使われている実際の作品を見ることで理解が深まったから。
- ・授業内の説明が理解しやすかった。質問に全て答えてもらうことができた。
- ・さすがに学部を通して専門で授業を受けている他大学の方に聞かないと分からない部分が多くあったので理解できたと自信を持って理解できたとは言えない。

## 2023年度単位互換事業 履修申込状況

募集		〈1次募集〉(募集期間3/24-4/6)									
校 目 No	校 目 No	提供校	開放科目名	分類	単位 数	授業形態	開講日程(予定)	送り出し校	申込者数 (人)	履修可校	履修可 (人)
1次	1	大手前大学	イメージと物語	文学	2	オンデマンド型	4月12日～7月28日	神戸学院大学(1)	1	神戸学院大学(1)	1
	2		サブカルチャー分析	社会学	2	オンデマンド型	4月12日～7月28日	兵庫県立大学(1)	1	-	0
	3		古文書学入門	史学	2	オンデマンド型	9月20日～1月29日	関西国際大学(1)、 神戸海星女子学院大学(1)	2	関西国際大学(1)、 神戸海星女子学院大学(1)	2
	4	甲南大学	労働経済 I (A)	経済学	2	全て対面	4月5日～7月24日 毎週木曜5限	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1
	5		物理学	物理学	2	全て対面	9月25日～1月22日 毎週火曜1限	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1
	6	神戸市外国語大学	英米文学・文化研究 入門	文学	2	ブレンド型	前期(4/11～8/1)	神戸学院大学(1)	1	神戸学院大学(1)	1
	7	神戸親和大学	自然環境と心理	心理学	2	全て対面	8月下旬頃	神戸松蔭女子学院大学(1)、 姫路大学(1)、兵庫県立大学(1)	3	神戸松蔭女子学院大学(1)、 姫路大学(1)、兵庫県立大学(1)	未
	8	神戸大学	データサイエンス基 礎学	情報学	1	オンライン型	12/6～2/7 毎週水曜5限(17時～ 18時半) ※1/3,1/17除く	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1
計	5							計	11	計	7

## 1、2023年度科目開放校と科目開放数について(計17校82科目)【資料3】参照

(1次募集) 科目開放校：17校、科目開放数82科目

## 2、2023年度履修者について

(※) 4月末現在、1科目3名が履修可否の結果待ち

1次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	5校8科目	6校11名	関西国際大学(1)・神戸海星女子学院大学(2)・神戸学院大学(2)・神戸松蔭女子学院大学(3)・姫路大学(1)・兵庫県立大学(2)
履修可	4校7科目(※)	6校7名	関西国際大学(1)・神戸海星女子学院大学(2)・神戸学院大学(2)・神戸松蔭女子学院大学(●)・姫路大学(●)・兵庫県立大学(●)
履修不可	1校1科目	1校1名	募集期間終了後の応募により(1)

※履修可となった授業形態は、対面3人、オンデマンド3名、オンライン1名、ブレンド1名(計7名)である。(4月末現在)

(参考)

## 1、2022年度科目開放校と科目開放数について(計15校85科目)

(1次募集) 科目開放校：14校、科目開放数76科目、(2次募集) 開放科目：4校16科目、(3次募集) 開放科目：5校15科目

## 2、2022年度履修者について

1次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	8校12科目	6校27名	関西国際大学(1)・関西学院大学(2)・神戸学院大学(15)・神戸市外国語大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(3)・兵庫県立大学(5)
履修可	7校11科目	6校23名	関西国際大学(1)・関西学院大学(2)・神戸学院大学(13)・神戸市外国語大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(2)・兵庫県立大学(4)
履修不可	2校2科目	4校4名	定員人数超過(3)、語学レベルの不足(1)により
2次募集	科目	履修者	学生内訳
履修申込	4校4科目	5校12名	関西国際大学(1)・神戸学院大学(6)・神戸芸術工科大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(2)・兵庫県立大学(2)
履修可	4校4科目	5校12名	関西国際大学(1)・神戸学院大学(6)・神戸芸術工科大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(2)・兵庫県立大学(2)
履修不可	なし	なし	-
3次募集	科目	履修者	学生内訳
履修申込	2校2科目	4校7名	関西国際大学(1)・神戸学院大学(3)・神戸芸術工科大学(1)・神戸大学(1)
履修可	2校2科目	4校7名	関西国際大学(1)・神戸学院大学(3)・神戸芸術工科大学(2)・神戸大学(1)
履修不可	なし	なし	-

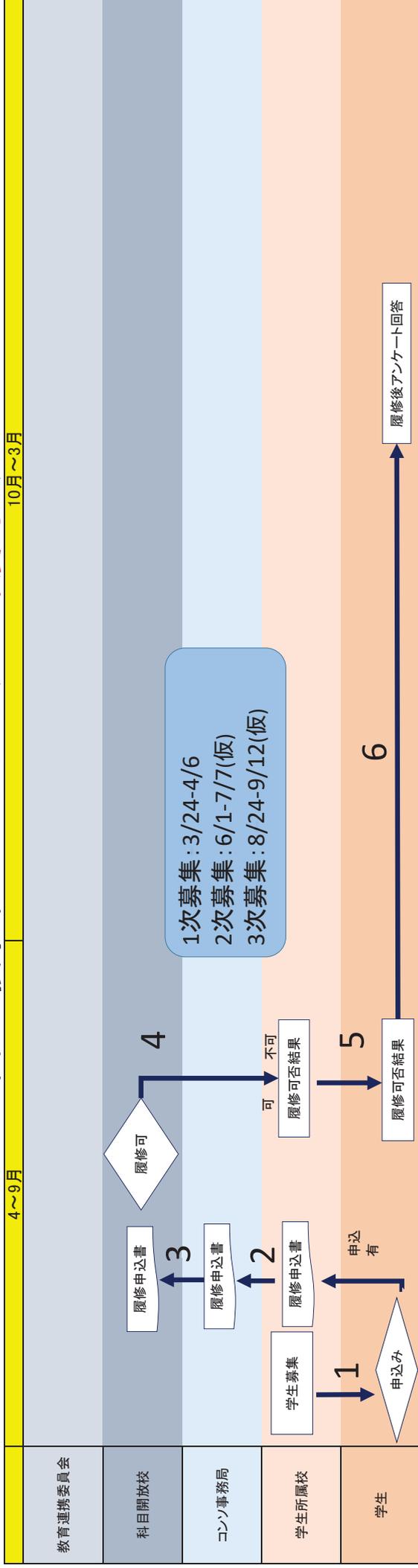
《2023年度単位互換事業 科目一覧表》

No	大学名	開放科目名	分野	担当者	単位数	開講キャンパス	開講形態		開講日種(予定)	履修生数期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
							授業形態	履修上の留意事項					
1	大手前大学	企業会計入門	経済学	坂元 英敏	2	まくら川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは確保が要	4月12日～7月28日	9月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月2日
2	大手前大学	イメージと物語	文学	大島 海英	2	まくら川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは確保が要	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月2日
3	大手前大学	サブカルチャー分析	社会学	谷村 要	2	まくら川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは確保が要	4月12日～7月28日	9月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月2日
4	大手前大学	観光学	社会学	清老 良平	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月2日
5	大手前大学	情報メディアと社会Ⅰ	社会学	谷村 要	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月2日
6	大手前大学	古文書学入門	史学	尾崎 耕司	2	まくら川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは確保が要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月21日
7	大手前大学	考古学の扉	史学	森下 暁司	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月21日
8	大手前大学	日本近代の都市	史学	尾崎 耕司	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月21日
9	大手前大学	観光の道しるべ	社会学	清老 良平	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月21日
10	大手前大学	英語の音声	語学	石野 尚	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月21日
11	大手前大学	国際日本特別講義(障がい者支援から見る国際協力)	社会学	松本 真司	2	まくら川キャンパス	フレンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは確保が要	10月～12月の土曜日(15回)	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：7月31日から5月29日
12	大手前短期大学	IT概論A	情報学	佐々木 英洋	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	4月12日～7月28日	9月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月29日
13	大手前短期大学	アパレル商品の知識	生活科学	島崎 千江子	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	4月12日～7月28日	9月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月29日
14	大手前短期大学	民法概説	法学	後藤 英一郎	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	4月12日～7月28日	9月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月29日
15	大手前短期大学	医療事務基礎Ⅰ	健康・スポーツ科学	小椋 千亜	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月29日
16	大手前短期大学	ビジネス実務演習	経済学	山岸 景子	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	4月12日～7月28日	9月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から5月29日
17	大手前短期大学	インテリアエレメント	建築学	藤本 幹也	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月29日
18	大手前短期大学	IT概論B	情報学	佐々木 英洋	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月29日
19	大手前短期大学	マーケティング基礎	経済学	稲井 就	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月29日
20	大手前短期大学	建築の歴史	建築学	藤本 幹也	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月29日
21	大手前短期大学	客席の法則	法学	芦田 秀昭	2	まくら川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月29日	特別補講および期末試験：1月30日から5月29日
22	関西国際大学	文化人講座	文化人科学	清水拓野	2	神戸山手	全て対面	英語での授業に事前で英語の勉強が必要	10月～1月	3月28日(水)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
23	関西国際大学	日本文化論(日本文化)	芸術学	上村和美	2	尼崎	全て対面		10月～1月	3月28日(水)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
24	関西国際大学	災害と安全(危機管理)	防災	道免悠子	2	神戸山手	全て対面		10月～1月	3月28日(水)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
25	関西国際大学	日本事情(日本社会)	史学	伊藤創	2	神戸山手	全て対面		10月～1月	3月28日(水)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
26	関西学院大学	A1活用入門1	機械工学	(代) 巳波 弘佳	2	-	オンデマンド型	ロギン時に顔認証を行ったため、カメラ機能付きのPCが必要	4月10日(月)～7月25日(火)の期間内(予定)	3月28日(火)～4月3日(月)	8月10日		
27	関西学院大学	A1活用入門2	機械工学	(代) 巳波 弘佳	2	-	オンデマンド型	ロギン時に顔認証を行ったため、カメラ機能付きのPCが必要	9月6日(水)～9月12日(火)	9月6日(水)～9月12日(火)	2月19日		
28	関西学院大学	専門講座207(手紙の世界)	社会学	(代) 松岡 克尚	2	西宮エッセンスキャンパス	全て対面		4月11日(水)～7月18日(月)	3月28日(火)～4月3日(月)	8月10日		
29	聖和短期大学	子ども発達支援の心理学	心理学	小山 頌	2	学校法人関西学院 西宮駅前キャンパス	全て対面	毎週15分授業(17:00～17:15)	2023年8月21日(月)～9月13日(水)	履修申込書受領から平日3週間後(予定)	2024年2月27日(火)		7/18は補講・試験日のため、休講が発生した場合は、7/18に補講を行うことがある。
30	甲南大学	環境生物科学	生物学	本多 大輔	2	岡本	全て対面		4月11日～4月6日	履修申込書受領3週間後(予定)	9月上旬		分野：生物学
31	甲南大学	入門マネジメント	キャリア	西川 耕平	2	岡本	全て対面		4月5日～7月24日 毎週月曜4限	履修申込書受領3週間後(予定)	9月上旬		分野：キャリア
32	甲南大学	統計入門①～③	経済学	小山 直樹	2	岡本	全て対面	①～③は1時間のクラス、④は10名以内	4月5日～7月24日 毎週月曜1限	履修申込書受領3週間後(予定)	9月上旬		

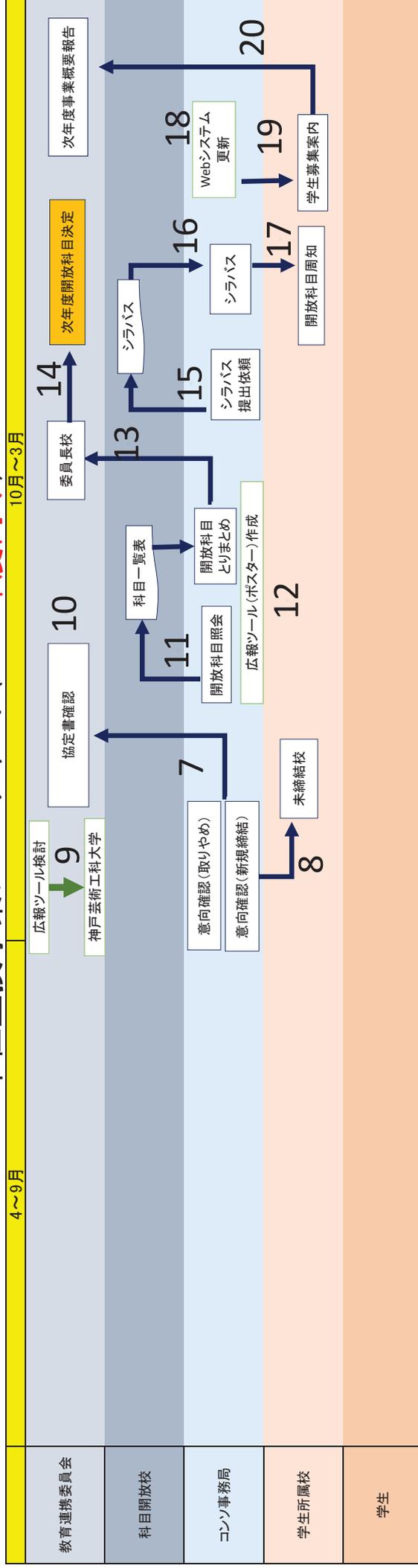
No	大学名	開放科目名	分野	担当者	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受け入れ人数	開講日曜(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
							履修形態	履修上の留意事項	ブレンド型のみ記載 授業方法							
33	甲南大学	労働経済Ⅰ(A)	経済学	上島 康弘	2	岡本	全て対面		通常	若干名	4月5日～7月24日 毎週水曜5時	4月1日～4月6日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬		
34	甲南大学	英語学講座Ⅱ	語学	福島 彰利	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週火曜2時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
35	甲南大学	国際関係論	国際	小西 幸男	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週月曜1時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業 分類：国際	
36	甲南大学	物理学	物理学	梅津 郁朗	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜4時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
37	甲南大学	世界のの中の日本Ⅱ	国際	小西 幸男	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜1時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業 分類：国際	
38	甲南大学	物理化学基礎	化学	山本 雅博	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜1時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業 分類：化学	
39	甲南大学	情報英語	語学	田中 雅博	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜3時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
40	甲南大学	経営実務b	その他	北居 明	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜3時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業 分類：経営学	
41	甲南大学	政治学入門C	政治学	池田 佳隆	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜4時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
42	甲南大学	経済学の歴史	経済学	岡田 元浩	4	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週月曜3・4時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
43	甲南大学	実践マネジメント	キャリア	西川 耕平	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週月曜4時	9月14日～9月21日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
44	神戸海女子学院大学	神戸学	地域研究	箕野 聡子	2	本学	全て対面		通常	5名程度 (女性の み)	2023年9月25日(月)～ 2024年1月29日(月) (詳細 は別添付)	4/5～4/14 9/25～10/2	履修申込書受領から7日 後	3月6日	履修登録期間中に於いては相談可 COVID-19感染状況により方針が 転じなる可能性あり。	
45	神戸学院大学	経営戦略論Ⅰ	社会	田中 康介	2	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面		通常	50名	4/11～7/18 毎週水曜4時 15:30～17:00	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定		
46	神戸学院大学	経営戦略論Ⅱ	社会	田中 康介	2	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面		通常	50名	9/19～1/16 毎週水曜4時 15:30～17:00	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	(注)11/2～11/5冬期休業、12/24～1/5 冬期休業、1/9創立記念祭休日の ため授業なし。	
47	神戸学院大学	地理学入門A 神戸からめざす日 本史)	史学	梶岡 昌男	2	ポートアイランド ドキャンパス	ブレンド型	シラハスで要確認	通常	10名程 度	4/11～7/18 毎週火曜1時 9:30～11:00	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定		
48	神戸学院大学	上級中国語ⅠC	語学	池田 啓左文	1	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面	中国語検定準級4級相当 以上の中国語力を有する	通常	制限無し	4/10～7/17 毎週月曜3時 13:45～15:15	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定		
49	神戸学院大学	上級中国語ⅠC	語学	池田 啓左文	1	有瀬キャンパス	全て対面	中国語検定準級4級相当 以上の中国語力を有する	通常	制限無し	4/12～7/22 毎週水曜2時 11:15～12:45	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定		
50	神戸学院大学	上級中国語ⅠC	語学	池田 啓左文	1	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面	中国語検定準級4級相当 以上の中国語力を有する	通常	制限無し	9/25～1/15 毎週水曜3時 13:45～15:15	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5冬期休業、12/24～1/5 冬期休業、1/9創立記念祭休日の ため授業なし。 1/10(GO) 正月期間授業日取り。	
51	神戸学院大学	上級中国語ⅠC	語学	池田 啓左文	1	有瀬キャンパス	全て対面	中国語検定準級4級相当 以上の中国語力を有する	通常	制限無し	9/20～1/17 毎週水曜2時 11:15～12:45	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5冬期休業、12/24～1/5 冬期休業、1/9創立記念祭休日の ため授業なし。 7/22(土)に水曜科目授業日あり。	
52	神戸学院大学	数的思考ⅡB (数的推理)	数学	中村 光宏	2	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面	シラハスで要確認	通常	10名程 度	4/12～7/22 毎週水曜2時 11:15～12:45	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定		
53	神戸学院大学	数的思考ⅡA (数的推理)	数学	中村 光宏	2	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面	シラハスで要確認	通常	10名程 度	9/20～1/17 毎週水曜2時 11:15～12:45	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5冬期休業、12/24～1/5 冬期休業、1/9創立記念祭休日の ため授業なし。	
54	神戸学院大学	現代の医療と福祉 Ⅱ	健康・スポーツ科学	高梨 薫	2	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面	シラハスで要確認	通常	10名程 度	4/10～7/17 毎週月曜1時 9:30～11:00	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定		
55	神戸学院大学	現代の障がい問題 Ⅱ	健康・スポーツ科学	高梨 薫	2	ポートアイランド ドキャンパス	全て対面	シラハスで要確認	通常	10名程 度	9/22～1/19 毎週金曜2時 11:15～12:45	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5冬期休業、12/24～1/5 冬期休業、1/9創立記念祭休日の ため授業なし。	
56	神戸芸術工科大学	日本建築の歴史	建築学	山之内 誠 教授	2	本学	全て対面		通常	5名程度	4/14～8/4 毎週金曜2時限	4/1～4/17	4/18限	9/1限		
57	神戸芸術工科大学	ランドスケープア デザイン	建築学	長濱 教授	2	本学	全て対面		通常	5名程度	9/19～1/23 毎週火曜3時限	9/11～9/23	9/25限	2/26限		
58	神戸芸術工科大学	ビジュアルデザ インⅡ	芸術学	寺岡 孝之 教 授 秋山 重雄 教 授	2	本学	全て対面		通常	5名程度	9/20～1/17 毎週水曜2時限 11:15～12:45	9/11～9/23	9/25限	2/26限		
59	神戸芸術工科大学	アニメーション作 品実践Ⅱ	芸術学	藤口 正宏 講 師	2	本学	全て対面		通常	5名程度	4/11～8/1 毎週火曜5-6時限	4/1～4/17	4/18限	9/1限		
60	神戸芸術工科大学	非言語メディア文 化史	芸術学	川中 利満 教 授 榎野 教 授	2	本学	全て対面		通常	5名程度	9/21～1/25 毎週水曜2時限	9/11～9/23	9/25限	2/26限		
61	神戸芸術工科大学	ファッションデザ イン概論	芸術学	堀 徹 教授 長尾 豊彦 教 授	2	本学	全て対面		通常	5名程度	4/12～8/2 毎週水曜2時限	4/1～4/17	4/18限	9/1限		
62	神戸芸術工科大学	アート・クラフト 概論	芸術学	戸矢尚 教授 坂内 克哉 教 授	2	本学	全て対面		通常	5名程度	4/14～8/4 毎週金曜3時限	4/1～4/17	4/18限	9/1限		
63	神戸芸術工科大学	科学と技術	その他	大内 克哉 教 授	2	本学	全て対面		通常	5名程度	9/22～1/26 毎週金曜4時限	9/11～9/23	9/25限	2/26限		

No	大学名	開放科目名	分野	担当者	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受け入れ人数	開講日曜(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
							授業形態	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載 授業方法							
64	神戸市外国語大学	英米文学・文化研究入門	文学	大西 晋他 (Jリレー講座)	2	本学	フレンド型	通信環境とPCは履修者 用です	14回：対面 1回：オンラインの予 定	通常	10名	前期(4/11~8/1)	2023/4/10~ 2023/4/14	履修可否受領から3日後	9月下旬	
65	神戸市外国語大学	スポーツ文化論演 習「第2」1	健康・ス ポーツ科学	常行 藤子雄教 授	2	本学	全て対面	学内外のフューエルド アップの必要性(参加必 須)を強調する中で、中 初に集中授業を行う日 程があり、各自で準備 が要ります。	前期(4/14~7/28)	通常	5名	2023/4/10~ 2023/4/14	履修可否受領から3日後	9月下旬		
66	神戸市外国語大学	スポーツ文化論演 習「第2」2	健康・ス ポーツ科学	常行 藤子雄教 授	2	本学	全て対面	学内外のプログラム(参 加必須)を強調するの で、土日祝に集中授業を 行う場合があります。各 各自で日程調整してい た必要があります。	後期(9/15~11/26)	通常	5名	2023/9/15~9/21	履修可否受領から3日後	3月初旬		
67	神戸市外国語大学	構型国連演習 (JUEMUN)	国際	Michael Hollenback 進教 授 Cori Zenk- Nishida 教授 Yumi Matsuda 講師	2	本学	全て対面	・別途費用が50000円か かります。 ・英語レベル: TOEIC 150以上、IELTS 5.5以 上 ・格2級以上、TOEFL英 検2級以上 ・進修あり	4/15 (Sat), 4/22 (Sat), 5/13 (Sat), 5/27 (Sat), 6/10 (Sat), 6/24 (Sat), 7/7 (Sat), 7/18 (Sat), 7/29 (Sun), 7/15 (Sat)	通常	20名(左 に1名 が10 名未満の 場合は不 開講)	2023/4/7	4/10	9月下旬	※基本対面だが、場合によってはオン ラインに緊急連絡がある 分野：国際	
68	神戸松蔭女子学院大学	神戸論	地域研究	江 弘毅	2	本学	全て対面	毎回、PCを 持参してください	4月8日~8月5日	通常	5	3/24~4/6	4月中旬	9月上旬	前期、月曜2限 女性のみのみ	
69	神戸松蔭女子学院大学	阪神デザイン論	地域研究	徳山 孝子	2	本学	フレンド型	第1回第2回第15回 一対面授業 上記以外はオンライン 授業者が準備する	4月8日~8月5日	通常	5	3/24~4/6	4月中旬	9月上旬	前期、水曜2限 女性のみのみ	
70	神戸女子短期大学	生命科学の知識	生命科学	黒澤子 菜保 弘子	1	Pキャンパス	全て対面	オンライン教材を見るための講座 (毎週)とPCは履修者の用意	9/27 (水)~12/20 (水)の毎週水曜日	通常	56名	9/1~9/5	9/22まで(予定)	2/14 (水)予定	女性のみのみ	
71	神戸女子短期大学	食品科学	生命科学	中田 麗子 赤井 崇 赤井 崇	2	Pキャンパス	全て対面	オンライン教材を見るための講座 毎週(毎週)とPCは履修者の用意	9/29 (金)~1/19 (金)の毎週水曜日 (1/13, 1/10を除く)	通常	58名	9/1~9/5	9/22まで(予定)	2/14 (水)予定	女性のみのみ	
72	神戸龍和大学	自然環境と心理	心理学	木下 寿希	2	鈴鹿キャンパス(八咫)	全て対面	3日連続中継のうち、2日目は 「録画授業」での授業を行 う。	9月下旬	集中	若干名	3月24日(金)~4月14日(金)	4月上旬	9月上旬		
73	神戸大学	データサイエンス基礎学	情報学	首藤 信通	1	オンライン	オンライン型	オンライン教材を見るた めの通信環境とPCは履 修者が用意	12/6~2/7 毎週水曜5限(17 時~18時) ※1/3, 1/17 を除く	通常	50人程度	三学期期間まで	申込書受領から1週間以内	3月中旬		
74	神戸大学	海洋実習 I	海洋	上井 進也 大沼 亮 重野 雅和	1	内海環境教育 研究センター・ マリンスایت	全て対面	履修学生は「学生教育研 究災害備忘録」等の条 件に必ず加入しておくこ と、パソコンを持参する こと。	令和6年3月(3日4日)	集中	3名	令和5年12月15日まで	申込書受領から1週間以内	3月下旬	マリンスイトに宿泊して実施する。経 費：宿泊料および食費として約 10,000円 ※学生保険等必須 ※新型コロナウイルス感染状況によ り、中止になる可能性あり。	
75	神戸大学	海洋実習 II	海洋	上井 進也 大沼 亮 重野 雅和	1	内海環境教育 研究センター・ マリンスایت	全て対面	履修学生は「学生教育研 究災害備忘録」等の条 件に必ず加入しておくこ と、パソコンを持参する こと。	令和5年8月(3日4日)	集中	3名	令和5年6月30日まで	申込書受領から1週間以内	10月上旬	マリンスイトに宿泊して実施する。経 費：宿泊料および食費として約 10,000円 ※学生保険等必須 ※新型コロナウイルス感染状況によ り、中止になる可能性あり。	
76	神戸大学	健康と食卓をつな ぐフィールド演習	農学	大山 恵二 他	1	農学実践科附属 長瀬園地実験研究 センター	全て対面	学生保険等必須	8/30~9/1	集中	15名程度	二次登録期間まで	申込書受領から1週間以内	9月中旬	学生保険等必須	
77	宝塚医療大学	医学	文学	廣田	2	本学	全て対面		4月6日~8月7日	通常	10	3月30日~4月11日	履修申込書受領から概ね1週 間	8月10日		
78	宝塚医療大学	文化人類学	文化人類学	足立	2	本学	全て対面		9月22日~R6年2月2日	通常	10	3月30日~4月11日	履修申込書受領から概ね1週 間	R6年2月6日		
79	宝塚医療大学	物理学	物理学	阿部	2	本学	全て対面		9月22日~R6年2月2日	通常	10	3月30日~4月11日	履修申込書受領から概ね1週 間	R6年2月6日		
80	兵庫県立大学	災害リスクマネジメント	防災	紅谷 昇平	2	神戸防災キャン パス	全て対面		4/8~6/3 土曜1・2限	通常	5~10名 程度	4/3~4/12	履修申込書受領から5日後	9月上旬		
81	兵庫県立大学	海洋復興政策論	防災	藤田 良介	2	神戸防災キャン パス	全て対面		6/10~7/29 土曜1・2限	通常	5~10名 程度	4/3~4/12	履修申込書受領から5日後	9月上旬		
82	神戸常盤大学	国際保健医療活動 I	国際	坂本 秀生	1	本学およびアメ リカ	全て対面	別添募集要項を参照のこ と。	2023年9月8日(金)~9月 18日(月)(予定)	集中	若干名	5月11日(木)まで	5月19日(金)	10月下旬予定		

単位互換事業フローチャート(2023年度向け)



単位互換事業フローチャート(2024年度向け)



**2023 年度**  
**大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業マニュアル（教職員用）**

**I. 単位互換事業とは**

単位互換制度とは、単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生が、他の加盟大学・短期大学が開放する科目を履修でき、取得した単位が学生所属校の単位として認定される制度であり概要は以下のとおりである。

事業所管委員会	教育連携委員会
事業参画要件	大学コンソーシアムひょうご神戸「単位互換事業における包括協定書」を締結していること
対象学生	1年生（留年生も含む）の夏季休業からの在学期間中。ただし、短期大学は1年生前期から対象とする
開放科目の選定要件	集中開講科目（国内合宿型、集中型実技・実習等特別プログラム）及び兵庫県地域特性や各校の特徴的な通常開講科目等
学生所属校	包括協定書締結校のうち、学生を送り出す大学・短期大学を示す
科目開放校	包括協定書締結校のうち、科目を開放する大学・短期大学を示す

**II. 単位互換事業フロー（No1-6 は 2023 年度、No7-20 は 2024 年度に向けての対応）**

No.	内容	時期（予定）	対応者
1	包括協定書締結校において学生募集実施※1	2023年3月20日～ 2023年4月6日	包括協定書 締結校
2	学生所属校（履修希望学生がいる場合のみ）は履修申込書類をコンソ事務局へ提出 （コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）	2023年4月6日まで （履修登録期間）	学生所属校
3	コンソ事務局より履修申込書・履修学生一覧表を科目開放校へ送付（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）	2023年4月上旬 ～中旬 （履修登録期間後）	コンソ 事務局
4	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2023年4月10日 （目安）	科目開放校
5	学生所属校から履修学生へ履修可否の連絡	2023年4月中旬	学生所属校
	当該年度学生所属校へ受講者アンケート実施依頼	2023年7月	コンソ 事務局
6	当該年度の前期受講者アンケート提出期限	2023年10月末	学生所属校
	当該年度の後期受講者アンケート提出期限	2024年2月中旬	学生所属校
7	包括協定書第9条に基づく取りやめ申し入れに係る意向確認	2023年7～11月末	コンソ 事務局
8	包括協定書未締結校へ締結依頼文書を送付し、意向確認 （依頼文書は委員長校に確認のうえコンソ事務局が送付）	2023年8～11月末	コンソ 事務局

No.	内容	時期（予定）	対応者
9	広報ツール（ポスター・チラシ）の検討	2023年10～11月	委員長校
10	上記7・8の結果を踏まえた次年度包括協定書を取りまとめ、次年度の実施方針を協議	2023年11月末	教育連携委員会
11	上記10の結果を踏まえ、包括協定書締結校へ開放科目（概要込）を照会（シラバス提出期限の事前連絡を兼ねる）	2023年12月中旬～ 2024年1月末	コンソ 事務局
12	広報ツール（ポスター・チラシ）の制作	2023年12月下旬（初稿）、2024年3月初旬校了	コンソ 事務局
13	上記11の結果を踏まえた次年度開放科目を取りまとめ、委員長校へ報告	2024年2月初旬	コンソ 事務局
14	次年度開放科目決定（メール審議）※2	2024年2月初旬～中旬	教育連携委員会
15	上記14に基づき、科目開放校へシラバス（コンソ統一様式）提出依頼	2024年2～3月初旬	コンソ 事務局
16	開放科目シラバス取りまとめ	2024年3月初旬	コンソ 事務局
17	包括協定書締結校へ開放科目を周知	2024年3月下旬	コンソ 事務局
18	webシステム更新（広報ツールデータのwebアップ含む）	2024年3月初旬～下旬 （掲載内容確認含む）	コンソ 事務局
19	広報ツールを包括協定書締結校へ納品・学生募集（提出書類等）についての案内	2024年3月下旬	コンソ 事務局
20	次年度事業概要報告	2024年3月中旬～下旬	コンソ 事務局

#### ※1 学生募集について

No1の時点（一次募集）で前期分・後期分をまとめて行う。二次・三次募集は、集中講義科目と後期科目について、科目開放校の意向を確認のうえ、希望校があった場合のみ行う。

#### ※2 開放科目の追加について

基本的にはNo14の時点で当該年度の開放科目を確定するが、包括協定書締結校より開放科目追加の申し出があった場合は、随時、メール審議等において開放科目追加を審議・決定する。

#### **No.1 包括協定書締結校において学生募集**

##### (1) 包括協定書締結校における学内申込期間の設定

- ・留学生は、他大学での授業を支障なく受講できると学生所属校で判断された場合のみ申込を受け付ける。
- ・卒業年次生は、卒業要件ギリギリの状態での履修は避けるよう、履修指導を行うこと。

##### (2) 申込者が募集人数を超えた場合

各協定書締結校内で募集人数枠以内になるように調整する。

## **No.2 学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）**

学生から履修申込があった学生所属校は、各期日までにコンソ事務局に、履修申込書・学生証の写し及び履修学生一覧表を原則としてメールと郵送にて提出する。ただし、学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は電子データのやりとりのみも可とする。

各校への提出方法についてコンソ事務局より学生募集を開始する前に包括協定書締結校へ照会を行う。(3月中旬)

メール提出（※必須）⇒履修申込書及び学生証写し（Excel データ、PDF データ）・履修学生一覧表（Excel データ）  
郵送提出⇒履修申込書・履修学生一覧表原本

※履修申込書については、顔写真が鮮明に写った「学生証の画像データ」と「顔写真」の画像データを添付することとする。

## **No.3 コンソ事務局より履修申込書・履修学生一覧表を科目開放校へ送付**

**（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）**

コンソ事務局にて、履修申込書及び履修学生一覧表をとりまとめ、各科目開放校へ送付のうえ、必要に応じて委員長校へ状況報告する。

① 履修申込書及び学生証写し（Excel データ、PDF データ）・履修学生一覧表（Excel データ）  
→ メールにて送付

② 履修申込書原本・履修学生一覧表原本 → 追って郵送

ただし、学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は電子データのやりとりのみも可とする。

## **No.4 科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡**

科目開放校は出願のあった申込学生についての履修可否の連絡を学生所属校・コンソ事務局へメールにて行う。

（履修可否記入済の履修申込書及び履修学生一覧表をデータ送付）

なお、履修申込書原本については、受入可否を記載の上、科目開放校が保管する。

## **No.5 学生所属校から履修学生へ履修可否の連絡**

学生所属校は速やかに学生へ履修可否の連絡を行う。

履修許可書についてはコンソ統一様式のものを作成せず、必要であれば各大学で発行する。

※履修の可否が確定していない期間の授業については、可能な限り出席するよう申込学生に指導を行うので、科目開放校は出席を拒まないこと。

## **No.6 当該年度所属校へ受講者アンケート実施依頼**

コンソ事務局は学生所属校へアンケート実施を依頼する。学生所属校は受講後の学生に案内を行う。

## **No.7 包括協定書第9条に基づく取りやめ申し入れに関わる意向確認**

包括協定書の有効期限は、原則締結日から1年度であり、その後は締結校から取り止めの意思がなければ自動継続となっていることから、継続意思の確認を行う。

## **No.8 包括協定書未締結校へ締結依頼文書を送付し、意向確認**

包括協定書未締結校に対し、包括協定書締結に係る依頼文書を発送する。

#### **No.9 広報ツールの検討**

ポスター及びチラシなどの広報ツールの制作について検討する。

(これまででは神戸芸術工科大学の学生に制作を依頼)

#### **No.10 次年度包括協定書締結校をとりまとめ、次年度の実施方針を協議**

- ・ No.7 及びNo.8 の結果をふまえ、次年度包括協定書を取りまとめ、教育連携委員会にて次年度の実施方針を協議する。なお、本マニュアルを改訂する必要がある場合は、教育連携委員会開催案内時に改訂案を送付するなど、事前の情報共有に努める。
- ・ 教育連携委員会で新規承認された大学に対し、次年度に向けた包括協定書調印手続きを行う。

#### **No.11 包括協定書締結校へ開放科目（概要込）を照会**

包括協定書締結校に対して開放科目を照会し、シラバス提出期限が3月初旬であることも併せて連絡する。

#### **No.12 広報ツールの制作**

3月完成を目途に、広報ツール（ポスター、チラシ）を作成する。

#### **No.13 次年度開放科目をとりまとめ、委員長校へ報告**

科目開放校はコンソ事務局へ開放科目一覧表を提出する。

提出された開放科目一覧表はコンソ事務局にてとりまとめ、委員長校へ報告する。

#### **No.14 次年度開放科目決定**

No.13 で報告された結果をもとに、教育連携委員会にて開放科目を決定する。（メール審議）

#### **No.15 シラバス提出依頼**

コンソ事務局より科目開放校へシラバス提出を依頼する。シラバス様式は、コンソ統一様式とし、科目開放校のシラバス様式での提出は認めない。なお、開講期間や時間、補講、試験等は科目開放校の規定を適用する。

#### **No.16 開放科目シラバスとりまとめ**

科目開放校はシラバスを作成の上、3月初旬までにコンソへ提出する。なお、科目開放校は、開放科目の詳細など学生に配布できる資料がある場合は、併せて提出する。

#### **No.17 包括協定書締結校へ開放科目を周知**

コンソ事務局にて開放科目をとりまとめ、包括協定書締結校へ開放科目の周知を行う。

#### **No.18 Web システム更新**

コンソホームページに設置されている単位互換事業ページで開放科目についての情報を公開する。

#### **No.19 広報ツールを包括協定書締結校へ、納品・学生募集（提出書類等）についての案内**

広報ツール（ポスター、チラシ）を包括協定書締結校へ納品する。

コンソ事務局より協定書締結校へ学生募集（提出書類等）についての案内を行う。

#### **No.20 次年度事業概要報告**

書面にて（3月中旬～下旬頃）、次年度の事業概要の報告を行う。

### Ⅲ. 履修に関して

#### 1. 連絡について

- (1) 履修・授業・試験・成績等に関する学生からの問い合わせは、学生所属校を通じて行う。  
学生所属校を通じて連絡・案内する場合は、各々の定める方法で行う。  
授業開始までの、科目開放校での講義を受講する際の注意や試験の実施方法等の案内、学生からの問い合わせは学生所属校を通じて行う。基本的に学生から科目開放校へ問い合わせないように指導すること。
- (2) 緊急時の場合は、科目開放校から学生へ直接連絡することがある。また、学生からも科目開放校へ直接連絡することを容認する。
- (3) 履修を許可された後については、科目開放校の担当窓口の指示に従うこととする。

#### 2. 履修辞退について

- (1) 科目開放校から履修許可が出たのちに、やむを得ない事情により履修辞退の申し出があった場合は速やかに学生所属校より科目開放校とコンソ事務局にメールで「辞退依頼書」写し（PDF データ）を送付した後、原本を科目開放校に郵送する。なお、科目開放校において履修辞退が認められない場合もある。
- (2) 科目開放校は「辞退依頼書」を受領した後、科目開放校の規定を適用し、履修辞退を認める場合は、「辞退承認通知」写し（PDF データ）を学生所属校とコンソ事務局に送付した後、原本を学生所属校に郵送する。

※学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は「辞退依頼書」及び「辞退承認通知」については電子データのやりとりのみも可とする。（学生所属校があらかじめ科目開放校に確認するものとする。）

メール提出（※必須）⇒「辞退依頼書」又は「辞退承認通知」写し（PDF データ）  
郵送提出⇒「辞退依頼書」又は「辞退承認通知」原本

#### 3. 学生対応について

- (1) 履修生専用の身分証はコンソ共通のものは作成せず、必要に応じて科目開放校にて準備する。
- (2) また、科目開放校は、履修生が図書館、食堂等の厚生施設を、科目開放校発行の身分証もしくは学生所属校の身分証の提示により使用できるように取り計らう。
- (3) 各加盟校に単位互換に関する規定や内規等がある場合は、その範囲内で運用することとする。
- (4) 学生の学生所属校は、履修を途中で辞めないように指導する。ただし、特別な事情がある場合は、大学間で履修取り消しを決定の上、コンソ事務局へ報告する。

#### 4. 休校・補講について

- (1) 休講要件等、履修のうえで必要な情報について、学生所属校は科目開放校から情報を入手し、学生へ説明しておくこと。
- (2) 休校・補講やその他授業に関する伝達事項が発生した場合は、科目開放校から学生所属校へ発信する。また、学生への連絡は学生所属校の定める方法で行う。  
事前に決定されている休校・補講である場合は授業時に科目開放校担当者から学生へ案内する。ただし、学生には日頃から科目開放校の掲示板などで情報を確認する習慣を身に着けるように指導すること。
- (3) 災害などの場合  
災害など、予測ができない状況における休校については、基本的に科目開放校のホームページに情報を掲載する。なお、急を要する場合の連絡については、学生と科目開放校との間で直接対応を可とする。

#### 5. 公欠（公休）について

公欠（公休）等の出欠の取り扱いは、科目開放校の規定を適用する。

#### 6. 試験について

- (1) 定期試験の時間割は、科目開放校から学生所属校へ定期試験通知書を送付する。
- (2) また、学生への連絡は学生所属校の定める方法で行う。但し、学生所属校との試験と重複した場合は、学生所属校の試験を優先させ、科目開放校と協議する。
- (3) 追試験及び再試験については、科目開放校の実施基準を適用する。なお、実施の有無は科目開放校の責任において学生全員に周知することとする。
- (4) 授業期間外に、独自の時間割を設定して定期試験を実施する場合は、原則科目開設曜日・時限での実施とする。

#### 7. 成績通知について

- (1) 科目開放校は、定められた期日までに学生所属校へ送付し、評価の確認は関係する大学担当間で行う。その際の成績通知は自由形式とするが、必ず 100 点満点に換算した「素点」を加える。
- (2) 定められた期日より早い送付を希望する大学は、個別に各大学へ依頼する。
- (3) 学生への通知は、学生所属校よりそれぞれの大学の定める方法で行う。  
(学生から直接科目開放校へは問い合わせないこと)

#### IV. 履修登録スケジュール

	事項	日程案
一次募集	コンソ事務局より包括協定書締結校へ開放科目（概要込）照会	2022年12月21日～2023年1月31日
	開放科目決定（コンソ事務局より委員長校・副委員長校へメール審議）	2023年2月7日～2月10日
	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ一次募集開放科目周知（募集チラシの送付）	2023年3月24日
	包括協定書締結校にて学生募集、受付	2023年4月6日まで（履修登録期間） ※大手前大学・大手前短期大学は4月1日迄、関西学院大学は4月3日迄とする
	学生所属校は申込書類をコンソ事務局へ提出	履修登録期間 メール：4月6日 午後12時まで 郵送：4月7日 午後15時まで
	コンソ事務局より、科目開放校ごとに履修申込書類を送付	2023年4月上旬～中旬（履修登録期間後）
	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2023年4月10日（目安）
	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える
	アンケート実施依頼	2023年7月
二次募集	包括協定書締結校へ二次募集科目照会	2023年5月中旬～5月下旬
	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ二次募集開放科目周知	2023年5月下旬
	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間：2023年6月1日～7月7日（案）
	履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール：7月7日 午後12時まで 郵送：7月10日 午後15時まで（案）
	コンソ事務局より、科目開放校ごとに履修申込書類を送付	7月上旬
	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2023年7月中旬
	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える
	アンケート実施依頼	2023年10月末
三次募集	包括協定書締結校へ三次募集科目照会	2023年7月中旬～8月上旬
	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ三次募集開放科目周知	2023年8月中旬
	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間：8月24日～9月12日（案）
	履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール：9月12日 午後12時まで 郵送：9月13日 午後15時まで（案）
	コンソ事務局より、科目開放校ごとに履修申込書類を送付	2023年9月中旬
	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2023年9月下旬
	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える
	アンケート実施依頼	2024年2月

V. 単位互換事業協定書締結校（2023.4月現在）

No	学校名	協定書	No	学校名	協定書
1	芦屋大学	○	20	神戸女子短期大学	○
2	大手前大学	○	21	神戸親和大学	○
3	大手前短期大学	○	22	神戸常盤大学	○
4	関西国際大学	○	23	神戸常盤大学短期大学部	○
5	関西福祉大学	○	24	神戸薬科大学	○
6	関西学院大学	○	25	園田学園女子大学	○
7	聖和短期大学	○	26	園田学園女子大学短期大学部	○
8	甲南大学	○	27	宝塚医療大学	○
9	甲南女子大学	○	28	姫路大学	○
10	神戸大学	○	29	姫路獨協大学	○
11	神戸医療福祉大学	○	30	兵庫大学	○
12	神戸海星女子学院大学	○	31	兵庫大学短期大学部	○
13	神戸学院大学	○	32	兵庫医療大学	○
14	神戸芸術工科大学	○	33	兵庫県立大学	○
15	神戸国際大学	○	34	流通科学大学	○
16	神戸市外国語大学	○	35	芸術文化観光専門職大学	○
17	神戸市看護大学	○			
18	神戸松蔭女子学院大学	○			
19	神戸女子大学	○	合計		35校

以上

## 2023 年度 大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換制度マニュアル（学生用）

### I. 単位互換制度とは

単位互換制度とは、単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生が、他の加盟大学・短期大学が開放する科目を履修でき、取得した単位が所属する大学・短期大学(以下「所属校」という。)の単位として認定される制度です。この制度は、原則、大学に在学する1年生の夏季休業以降を対象としますが、短期大学は1年生前期から対象としています。

年間で履修できる科目数や取得できる単位数は、各自の所属校によって取り扱いが異なりますので、事前に所属校で確認してください。

なお、受講料は無料ですが、受講科目によっては、所定の実習費や材料費等が必要になる場合があります。

#### 【非対面形態の開放科目を履修するうえでの留意点】

2023 年度は、オンライン型やオンデマンド型など、非対面形態での開放科目を提供しますが、履修に必要な ICT 環境(受信端末や Wi-Fi 等)は履修者自身で整えることを前提としています。

履修にあたっては、履修前に必ず以下の点を確認するようにしてください。

- ・自身の ICT 環境に不安がある場合は、所属校を通じて科目開放校に履修に必要な ICT 環境を確認する。
- ・自身で ICT 環境を整えられない場合は、所属校が有する通信設備(コンピューター室等)を利用できるか確認する。

### II. 履修手続について

#### 1. 申込期間

単位互換科目は、履修登録期間(3月下旬から4月上旬ごろ)に、前期分後期分取りまとめて履修申込期間を設けています。なお、科目開放校の都合により、夏期・後期科目の募集を追加で行う場合もあります。

#### 2. 申込手続き

所属校で出願受付を行います。なお、所属校ごとに申込期間が異なりますので、詳細については必ず所属校にご確認ください。また、卒業年次生の履修について、卒業要件単位を満たすための履修は認めません。

・1次募集(前期申込):3月24日～4月6日(全科目対象※1)

・2次募集:5月頃(夏季集中講義・後期・秋学期開講科目対象)

・3次募集:8～9月頃(後期・秋学期開講科目対象)

※1 次募集の大手前大学・大手前短期大学、および関西学院大学は申込締め切りが早くなりますので、ご注意ください。(大手前大学・大手前短期大学は4月1日迄、関西学院大学は4月3日迄)

※1次募集を原則としておりますので、できるだけ1次募集(前期申込)期間に手続きを行ってください。

- ①申込期間内に、履修申込書に必要事項を記入し、所属校担当窓口へ提出してください。履修申込書は1科目につき1枚提出とします。提出の際は顔写真が鮮明に写った学生証のコピーを添付してください。なお、申込書は大学コンソーシアムひょうご神戸 HP よりダウンロードできます。

<https://www.consortium-hyogo.jp/compatible/>

※履修許可後の受講辞退は原則認めません。履修計画をしっかりと立てて申し込みを行ってください。

②履修の可否について、申し込みから約 2～3 週間後に所属校を通じて通知します。科目開放校に直接問い合わせをしないようにしてください。

通年科目または前期科目の場合、申し込みして履修許可通知があるまでに多くの科目で授業が開始されます。これらの科目に申し込みした場合は、履修可否通知があるまでその申込科目を仮受講してください。なお、履修が許可されるまでの期間は、科目開放校での講義を受講する際の注意や試験の実施方法等の案内などの問い合わせは所属校を通じて行います。問い合わせがある場合は、まず所属校の担当窓口ご連絡してください。

ただし、科目開放校の施設などの諸条件から、申込者が授業定員を超えた場合、履修不可となる場合があります。

### Ⅲ.履修について

#### 連絡について

履修・授業・試験・成績等に関する連絡は所属校を通じて行いますが、履修を許可された後については、科目開放校の担当窓口の指示に従ってください。

また、緊急時の場合は科目開放校から直接連絡することがあります。

#### 1. 施設利用について

履修生の身分は、科目開放校発行の身分証もしくは所属校の学生証で証明するものとします。

履修期間中、科目開放校での図書館や食堂等の厚生施設を、科目開放校発行の身分証もしくは所属校の学生証の提示により利用することができます。ただし、使用できる施設は科目開放校の定めるところとします。

#### 2. 休講・補講について

休講や補講、その他授業に関する伝達事項が発生した場合は科目開放校から所属校へ連絡をしますので所属校からの連絡に従ってください。また、災害など急を要する場合の連絡については、科目開放校のホームページを確認の上、直接連絡をしても構いません。

#### 3. 公欠(公休)について

公欠(公休)等の出欠の取り扱いは、科目開放校の規定を適用します。

#### 4. 試験について

定期試験は原則、授業と同一曜日・時限で実施されます。

なお、定期試験時間割は科目開放校から所属校へ通知されますので、所属校へ確認するようにしてください。定期試験は所属校の試験を優先させ、開放科目と重複が生じた場合は所属校窓口に相談してください。追試験・再試験については、科目開放校の実施基準を適用します。試験終了後、「受講者事後アンケート」に必ず回答してください。

#### 5. 成績通知について

成績通知は所属校より行われます。単位の認定については、科目開放校から通知された成績を所属校の規定に基づき、認定を行います。

成績評価に関する問い合わせについては、科目開放校に直接問い合わせはせず、所属校の担当窓口へ行ってください。

以上

## 大学コンソーシアムひょうこ神戸 単位互換事業 受講者事後アンケート

単位互換事業に関する受講者事後アンケートの回答はこちらからお送りください。

<p>あなたの所属校 <b>必須</b></p>	<p>大学名 <input type="text"/></p> <p>学部名 <input type="text"/></p> <p>学科・コース名 <input type="text"/></p> <p>年次 <input type="text"/></p>
<p>氏名 <b>必須</b></p>	<p><input type="text"/></p>
<p>メールアドレス <b>必須</b></p>	<p><input type="text"/></p>
<p>受講した授業について <b>必須</b></p>	<p>学校名 <input type="text"/></p> <p>授業名 <input type="text"/></p>
<p>Q1_単位互換事業について、利用してよかったですか。 <b>必須</b></p>	<p><input type="radio"/> 1_とてもよかった</p> <p><input type="radio"/> 2_よかった</p> <p><input type="radio"/> 3_どちらともいえない</p> <p><input type="radio"/> 4_あまりよくなかった</p> <p><input type="radio"/> 5_よくなかった</p> <p>上記の選択肢を選んだ理由とどのような学びがあったかをお書きください。</p> <p><input type="text"/></p>
<p>Q2_受講した理由は何でしょうか。(複数回答可) <b>必須</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 1_所属大学にない授業</p> <p><input type="checkbox"/> 2_所属大学で受けた学びを深めたい</p> <p><input type="checkbox"/> 3_所属大学にはあるが受講できない</p> <p><input type="checkbox"/> 4_その他</p> <p>その他を選んだ方は理由を記入してください。</p> <p><input type="text"/></p>

<p>Q3_授業は理解できましたか <b>必須</b></p>	<p> <input type="radio"/> 1_十分理解できた  <input type="radio"/> 2_理解できた  <input type="radio"/> 3_どちらともいえない  <input type="radio"/> 4_あまり理解できなかった  <input type="radio"/> 5_理解できなかった          上記選択肢を選んだ理由を記入して下さい。  <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div> </p>
<p>Q4_受講のきっかけとなった媒体等は何でしょうか（複数回答可） <b>必須</b></p>	<p> <input type="checkbox"/> 1_大学のガイダンス・案内  <input type="checkbox"/> 2_単位互換事業のポスター・チラシ  <input type="checkbox"/> 3_大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページ  <input type="checkbox"/> 4_友人・知人に勧められて  <input type="checkbox"/> 5_教員に勧められて  <input type="checkbox"/> 6_その他（          具体的に <input style="width: 300px;" type="text"/> ）       </p>
<p>Q5_今後、単位互換事業に期待することをご記載下さい。次年度の運用に参考にします。 <b>必須</b></p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p>例) オンライン授業の併用、科目数増加など</p>
<p>Q6_その他、ご意見、感想等がありましたらご記入ください</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
<p>アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。</p>	

内容確認画面へ

(案)

2023年 5月 10日

神戸芸術工科大学  
学長 佐藤 優 様

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
教育連携委員会委員長 土本 達也

2024年度大学コンソーシアムひょうご神戸単位互換事業に係る  
ポスター・チラシの制作について (依頼)

平素は、教育連携委員会の運営にご協力を頂き、感謝申し上げます。

さて、大学コンソーシアムひょうご神戸では、会員校の学生に幅広い科目の履修や学びの機会を提供することを目的に、2010年度から単位互換事業を実施しております。

本事業では、できる限り多くの学生が参加できるよう、PRポスターとチラシを関係校に配布しており、2024年度用のポスター・チラシを制作することとしておりますが、学生の興味を引くためには、学生目線での制作が重要であると考えております。

つきましては、ポスター・チラシ印刷用原稿の制作について、下記のとおり、芸術工学を専攻する貴校の学生にお願いしたいと考えておりますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 依頼内容

2024年度単位互換事業PRポスター及びチラシ印刷原稿の制作  
(ポスターサイズ B2、チラシサイズ A4 両面、ポスター・チラシともフルカラー印刷)

2 制作スケジュール (案)

2023年12月22日(金) ポスター・チラシ(表面)初稿提出(貴校→コンソ事務局)

2024年1月26日(金) 2023年度開放科目データ提出

～2月6日(火) (コンソ事務局→貴校)

2024年度2月13日(火) 校了前データ(裏面)提出(貴校→コンソ事務局)

～3月1日(金)

2024年度3月4日(月) 校了(貴校→コンソ事務局)

※上記スケジュールは、双方協議の上変更することがございます。

3 謝金

あり

【担当窓口】

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中水かおる/沓脱大志

TEL: 078-271-0233 E-Mail: info@consortium-hyogo.jp

コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム（教育連携委員会：多様な学修機会の提供事業）

※セミナーの案内・実施要項・申込用紙等を作成されている場合は、併せて添付ください。  
 ※周知、周知期間を必要としますので、セミナー実施日の1ヶ月前を目安に情報提供ください。

大学名 必須	<input type="text"/>
セミナー名 必須	<input type="text"/>
セミナー概要・テーマ (100～150文字程度) 必須	<input type="text"/>
開催日（西暦：年月日） 必須	<input type="text"/>
開催時間（24時間表記／ 例：14：30～17：00） 必須	<input type="text"/>
種別（教職員/学生） 必須	<input type="text" value="v"/>
セミナーの形式 必須	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> パネルディスカッション形式 <input type="checkbox"/> 参加者体験型 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> その他
オンラインの場合（使用ツール）、その他について 補足事項あれば	<input type="text"/>
公開について（公開区分） 必須	<input type="checkbox"/> 全て公開可 <input type="checkbox"/> 一部公開可 ※備考欄に詳細を記入ください
（当日配布資料の公開） 必須	<input type="checkbox"/> 全て公開可 <input type="checkbox"/> 一部公開可 <input type="checkbox"/> 資料公開不可
（実施後の事業報告書・アンケート結果） 必須	<input type="checkbox"/> 全て公開可 <input type="checkbox"/> 一部公開可 <input type="checkbox"/> 資料公開可

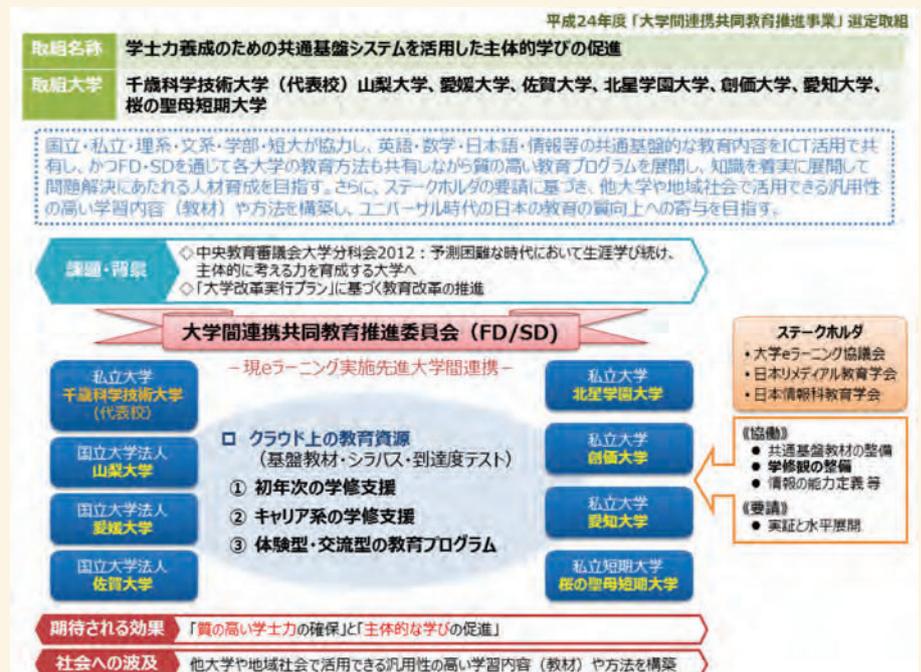
セミナー受講対象者 <b>必須</b>	<input type="text"/>
募集人数（全体） <b>必須</b>	<input type="text"/> 人
コンソ加盟校参加可能枠 （人数制限がある場合） *ない場合は「制限なし」と記載ください <b>必須</b>	<input type="text"/> 人
申込期限（年月日） *先着順の場合は（先着○人） <b>必須</b>	<input type="text"/>
参加費 <b>必須</b>	<input type="checkbox"/> 有料 <input type="checkbox"/> 無料
参加費（有料の場合）	<input type="text"/> 円
申込・問い合わせ先 （担当部署名） <b>必須</b>	<input type="text"/>
（ご担当者名）	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/> <input type="text"/> 確認用
電話番号	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
申込サイト等（URL）	<input type="text"/>
本件ご記入者（コンソ・FDSD委員会からのご確認用）	<input type="text"/>
備考・連絡事項（加盟校学生または教職員に対する受講支援などあれば、こちらにお書きください。例えば、受講無料、割引等）	<input type="text"/>
添付ファイルがある場合	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません 4Mバイトまで <a href="#">複数ファイルを送るには</a>

# <ワークショップ> 大学eラーニング協議会 教材共有と共通基盤教育システム 運用方法を中心に, Ver. 20190314

## 共有教材の整備

入学前後や初年次の基礎教育部分にむけて、  
各高等教育機関を中心に横断的に利用できるよう狙って整備

eラーニング先進校の  
ワーキンググループ  
による開発教材が  
ベースとなっている  
(文部科学省事業)



# 教材の種類

分野	単元や内容	種別	数
高校情報	情報活用の実践力 情報の科学的な理解 情報社会に参画する態度	演習	約200問
中学数学	1～3年の基礎的内容	演習 解説	約950問 約300ページ
高校数学	1～3年の基礎的内容	演習 解説	約1850問 約650ページ
大学数学	微分積分（基礎および理系向け）	演習 解説	約200問 約650ページ
	線形代数 統計学，数理統計，データ解析的解析	解説	約50ページ

※教材数は整備・再編等により変動するため、目安としてご覧ください

※一部の解説には Adobe Flash プラグインが必要です

⇒ 2018年度は、中学・高校数学の解説の脱Flash化（約800ページ）が進む

# 教材の種類

分野	単元や内容	種別	数
日本語	漢字（読み・書き），語義， 四字熟語，ことわざなど	演習	約1200問
SPI対策	言語能力・非言語能力	演習	約250問
中学英語	英文法の基礎	演習	約1200問
大学英語	リメディアル英語	演習	約250問

※教材数は整備・再編等により変動するため、目安としてご覧ください

※一部の解説には Adobe Flash プラグインが必要です

# 教材の種類

- ・ 入学時・2年次の学生の実力を測るためのテスト  
(マークシート用・Moodleテスト用)

分野	単元や内容
情報	情報リテラシー (初年次・2年次共通)
数学	数的指向 (文系・短大等むけ) 理系1 (高校数学2Bレベル) の3種類 理系2 (高校数学3Cレベル)
日本語	初年次 1種類 2年次 2種類 (試験時間が異なる)
大学英語	初年次 1種類 2年次 2種類 (リスニングの有無が異なる)
学習観	学びの意欲を自己診断するアンケート (初年次・2年次共通)

# 教材利用の費用

教材を利用したい教育機関は、大学eラーニング協議会に加盟の上、**教材利用料 (年額7万円)** の費用が必要

- ⇒ 教材の改修、教材配信用の共通基盤教育システム (後述) の費用として充てられる
- ⇒ 利用を検討したい大学には、**原則1年間の無償試用期間**を用意  
2018年度は、28機関が利用、10機関が試用中

出版社等の著作権物を用いた、拡張版の教材も用意  
(利用の場合は上記と別途に著作利用料が必要)

例：TOEIC対策 **演習・教科書 (要別途費用)**

マクミランランゲージハウス社の教材

(TOEIC 200～500, Red～Indigo)

演習約2700問、教科書約200ページ

# 演習の例 (Moodle)

標準のMoodleテスト形式で利用

**問題 1**

未解答

最大評点 5.00

問題にフラグを付ける

問題を編集する

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  で、 $\sin\theta = \frac{2}{3}$  のとき、 $\cos\theta, \tan\theta$  を求めなさい。

$$\cos\theta = \frac{\sqrt{[1]}}{[2]}, \tan\theta = \frac{[3]\sqrt{[4]}}{[5]}$$

[1] :

[2] :

[3] :

[4] :

[5] :

---

**問題 2**

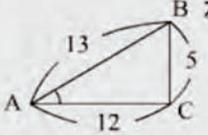
未解答

最大評点 6.00

問題にフラグを付ける

問題を編集する

左の図のような三角形において次を求めなさい。



$$\sin A = \frac{[1]}{[2]}, \cos A = \frac{[3]}{[4]}, \tan A = \frac{[5]}{[6]}$$

[1] :

# 演習の例 (Solomon)

独自のWebシステム (後述) で利用

キャリア支援 > SPI対策 > 言語能力問題 > 二語の関係

二語の関係 (進捗率: 0%) 自動的

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 >>

次二語の関係を考えて、同じ関係のものを選びなさい。

扇風機：羽

A 大工：建築  
B 日傘：遮光  
C 自転車：タイヤ  
D セメント：コンクリート

A  B  C  D

次のヒント1/3 解答す

キャリア支援 > SPI対策 > 言語能力問題 > 二語の関係

二語の関係 (進捗率: 0%) 自動

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 >>

扇風機：羽

→部分の関係 「羽は扇風機の一部である」

A 大工：建築  
→仕事の関係 「建築は大工の仕事である」

B 日傘：遮光  
→用途の関係 「遮光のために日傘を用いる」

C 自転車：タイヤ  
→部分の関係 「タイヤは自転車の一部である」

D セメント：コンクリート  
→原料の関係 「コンクリートの原料はセメントである」

問題 55

# 解説の例

標準数学 > 高校1年 > 2次関数 > 2次関数の最大・最小

式に文字係数を含む2次関数の最大・最小 自動的に拡大縮小する

■ 式に文字係数を含む2次関数の最大・最小

$y = x^2 - 2ax + a^2 + 1$   
 $y = (x - a)^2 + 1$

2次関数の方程式の係数に文字が含まれる場合  
 例) 2次関数  $y = x^2 - 2ax + a^2 + 1$  ( $0 \leq x \leq 2$ )  
 の最大値・最小値を求めましょう。

左の図からわかるように、 $a$  の値によってグラフは移動し  
 1つに定まりません。(頂点は  $(a, 1)$ 、軸は  $x = a$ )  
 そこで、 $a$  の値で場合分けをして最大値・最小値を求めよう。

また、 $y = f(x) = (x - a)^2 + 1$  とおきます。  
 このとき、たとえば  $f(0)$  は、 $y = (x - a)^2$   
 $x = 0$  のときの  $y$  の値を示します。

(I)  $a < 0$  のとき

01. 基本事項

1 2 3 4 5

▼ 2. 総和

a.  $\sum$  の意味:

$$\sum_{k=1}^n a_k = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 + \dots + a_{n-1} + a_n$$

b. 自然数のべき乗の公式:

$$\sum_{k=1}^n k = \frac{n(n+1)}{2}, \quad \sum_{k=1}^n k^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1), \quad \sum_{k=1}^n k^3 = \left(\frac{n(n+1)}{2}\right)^2$$

例題 2-1

$\sum_{k=1}^5 (2k+3)$  の値を求めよ。

解答を開く

閉じる

# 到達度テストの例

問題 1

1.  $(\sqrt{6} + \sqrt{2})(\sqrt{6} - \sqrt{2}) = \boxed{\text{ア}}$  である。

2.  $(x^4 - 3)^2 = x^m - 6x^n + 9$  とするとき、 $m = \boxed{\text{イ}}$ 、 $n = \boxed{\text{ウ}}$  である。

3.  $x^2 - 2x - 35 = (x + \boxed{\text{エ}})(x - \boxed{\text{オ}})$  である。

4. 次の問いに答えよ。

(1)  $x = 20$  のとき  $y = 10$  であり、 $x$  の値が 4 増加するとき、  
 式は  $y = -\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}}x + \boxed{\text{クケ}}$  である。

(2) 2点 P(10, 81), Q(20, 151) を通る直線の方程式は  $y =$

問題 1  
 未解答  
 最大評点 1.00  
 問題にフラグを付ける  
 問題を編集する

情報が持つ性質として、当てはまらないものはどれか。

1つ選択してください:

- 1 みんなが知っている情報は価値が高い
- 2 情報は複製が可能である
- 3 情報は伝達できる
- 4 情報は人により価値が異なる
- 5 わからない

問題 2  
 未解答  
 最大評点 1.00  
 問題にフラグを付ける  
 問題を編集する

出力装置であるものはどれか。

1つ選択してください:

- 1 CPU
- 2 キーボード
- 3 プリンタ
- 4 ハードディスク
- 5 わからない

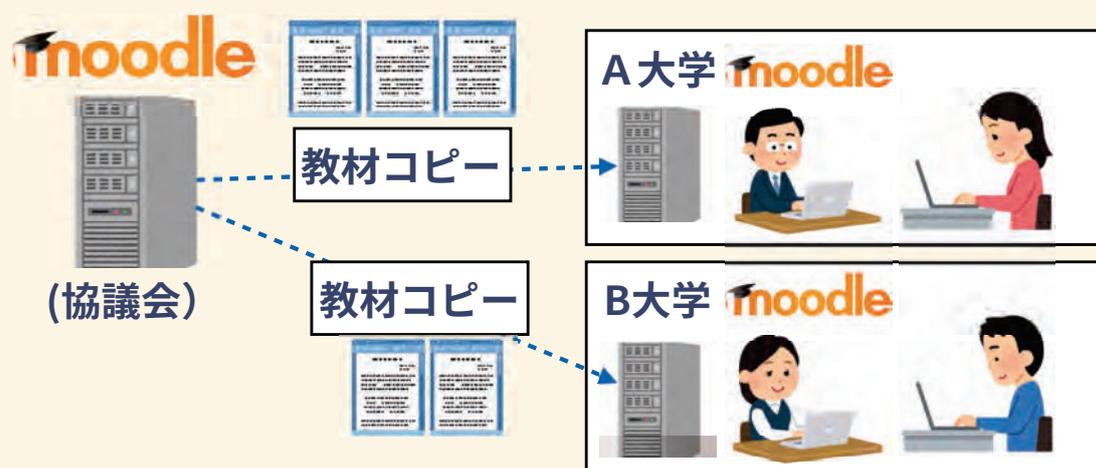
# 教材の共有・利用 (共通基盤教育システム)

## 教材の共有・利用方法

- Moodleバックアップでの利用

<https://pubmdl.uelcloud/moodle25/>

各大学が運用するMoodleに、コースをコピーして利用  
(Moodleは ver2.7 以降を想定)



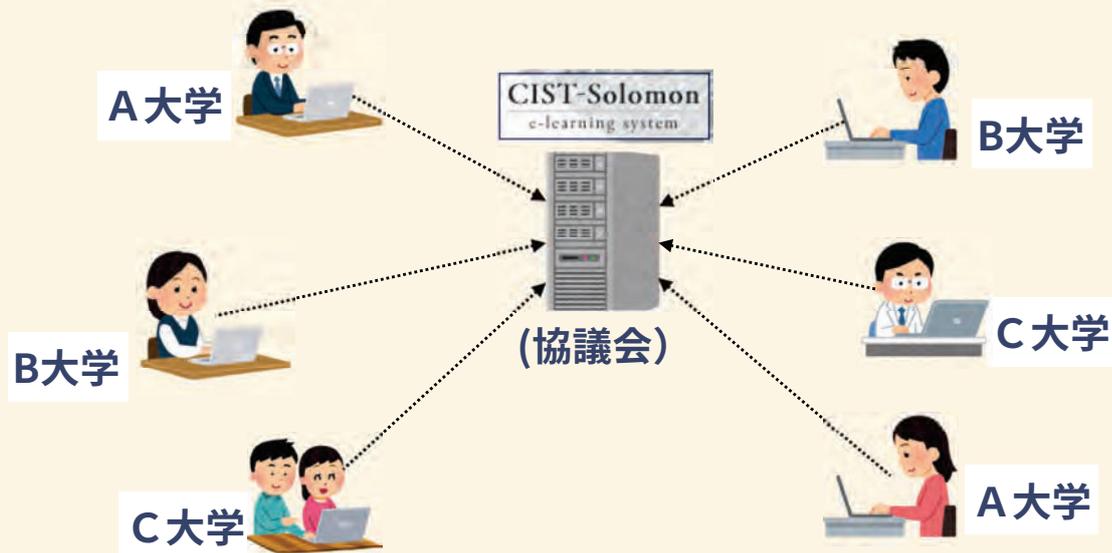
※Moodle, Solomonのいずれかのみ公開を行っている教材があります。  
SCORM(v1.2) 形式で配布が可能な教材もあります。

# 教材の共有・利用方法

- 共通基盤教育システム(Solomon)での利用

<https://solomon.uela.cloud/>

協議会が運営する独自のeラーニングシステムでの利用  
大学ごとに学生のユーザや学習管理を行う



※ Moodle, Solomonのいずれかのみ公開を行っている教材があります。  
SCORM(v1.2)形式で配布が可能な教材もあります。

## 共通基盤教育システム (Solomon)

学生が教材を使って学習できるeラーニングシステム

協議会から大学用管理アカウントを配布  
各大学は教員・学生ユーザを管理し利用

The screenshot shows the homepage of the Solomon e-learning system. The header includes the text "大学間連携共同教育推進事業 共通基盤教育システム" and a map of Japan. Below the header, there are several sections: "このシステムについて" (About this system), "システム利用条件" (System usage conditions), "ブラウザプラグイン" (Browser plugins), "ブラウザの設定" (Browser settings), "お知らせ" (Notice), and "ログイン" (Login). The "お知らせ" section contains a notice about system maintenance on 02/13. The "ログイン" section includes fields for account name and password, and buttons for "リセット" (Reset) and "ログイン" (Login). The footer contains copyright information and a small logo.

# Solomonの主な機能

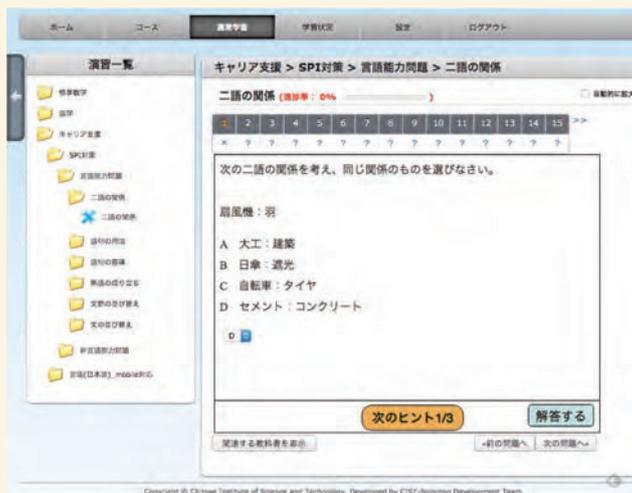
## 学生側機能

- ・ コースに取り組む
- ・ 自由に教材に取り組む
- ・ 自らの取組履歴を確認する

## 教員側機能

- ・ アカウントを管理する
- ・ コースを登録する
- ・ 学生の取組履歴を確認する

※Solomonのコースは、対象学生、期限、教材を選んで学習指示できる機能



演習	進捗率 (%)	正解 (問)	不正解 (問)	ヒント (問)	合計時間 (MM:mm:ss)	評価
総演習数: 385	平均進捗率: 0.0	総正解数: 1	総不正解数: 3	総ヒント数: 3	総取組時間: 00:02:15	
整式とその加減	0	0	0	0	00:00:00	
整式の乗法	0	0	0	0	00:00:00	
因数分解	0	0	0	0	00:00:00	
実数	0	0	0	0	00:00:00	
平方根	0	0	0	0	00:00:00	
方程式と不等式(1次不等式)	0	0	0	0	00:00:00	
方程式と不等式(2次方程式)	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 整式とその加減	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 整式の乗法	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 因数分解	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 実数と絶対値	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 平方根	0	0	0	0	00:00:00	

# Solomonの「コース」

- ・ 対象の学生に、期限と教材を選んで学習を指示できる機能 (つまり、課題)
- ・ 課題ごとに、学生の取り組みを管理できる
- ・ 課題形式のものならば、様々な取り組みに利用できる (例：授業内外の課題、入学前教育、長期休業期間の宿題…)

# コース（授業内外の課題の設定イメージ）

[コース] 数学基礎 (4/1~8/1)	[授業]1 4/1 13:00~15:00 到達度テスト
	[授業]2 4/1~4/8 正の数・負の数
	[授業]3 4/8~4/15 二次関数の最大最小
	[授業]n 7/24~7/31 テスト対策（全範囲）

※教員がコースを設定すると、学生のコース機能に反映される  
学生は自らに設定されたコースに取り組める

## コースの取り組み管理で みえてくること

- ・ 学習の習慣の有無
- ・ 失速/復調の有無
- ・ 学習への取り組み方（経過）
- ・ etc...

eラーニングシステムを導入することで、  
自然と学生の学習が進むわけではない

学生個々の経過を把握しやすくなるツールとして活用  
⇒ ツールから得た情報を元に学生にアプローチ

# コース利用例：入学前教育

- ・ 推薦入学者などにアカウントを配布し、入学時に向けて学習してもらう
- ・ 学習管理を行い、取り組み状況が悪い入学者にはコンタクトを取る  
(例：メール・定期的な登校日)
- ・ 到達度テストなどと組み合わせ、入学者の学力のある程度の把握を狙う例もみられる

## 入学前・初年次教育による 代表的な利用形態

## 形態A： Moodleのみを利用

入学前教育：各機関既存のMoodleを利用

初年次教育： 同 上

メリット：

入学前と正規のカリキュラムで学習履歴を一元管理でき、学習経過の把握や追跡が容易

デメリット：

入学前の生徒にアカウント発行を要する  
⇒ユーザ管理や認証について技術面や運用ポリシーとの整合が必要

全学的なカリキュラムでMoodleを利用する基盤や方針が整っている機関が主に採用



## 形態B： Solomon, Moodleの分担利用

入学前教育：協議会のSolomon

初年次教育：各大学のMoodle・その他LMS

メリット：

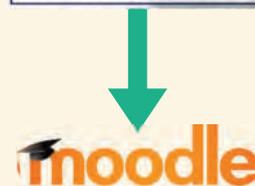
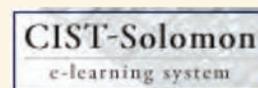
入学予定者はSolomonで独立して学習

各大学の既存のMoodleや認証システムへの影響を抑えて入学前教育を実現可能

デメリット：

入学前後でシステム（学習管理方法）が異なるため、入学前後の学習経過の把握にはデータの突き合わせが必要

入学前教育を一部の学部・担当部局が別に企画・実施する方針の機関が主に採用



## 形態C：Solomonのみ or 既存システムとの併用

入学前教育：協議会のSolomon

初年次教育：協議会のSolomon（一部他を併用）

メリット：

LMSの導入準備をせずに、共通教材と学習履歴の管理が可能な環境を実現

環境を変えずに入学後のリメディアルも可能

デメリット：

併用の場合は、大学のものとは別に  
学生が複数のアカウントを使い分ける必要性

全学的なeラーニングの体制・環境が整備されていない機関、一部科目・授業・資格対策等でのニーズをもつ機関が主に利用



CIST-Solomon  
e-learning system



## 2019年度の主な予定

- ・ 解説の拡充（CHiLO Book）
- ・ 脱Flash化を行った解説（中学・高校数学）の Moodle側への反映
- ・ Moodleのバージョンアップ  
（v2.7 ⇒ v3.x, 検討開始、実施）

# 試用、利用の問い合わせ先

- **大学eラーニング協議会 事務局 (e-mail)**  
uela\_offices@googlegroups.com
- **大学eラーニング協議会**  
<https://www.uela.cloud/>
- **eラーニング共通基盤推進事業**  
<https://www.uela.cloud/el-kiban/>